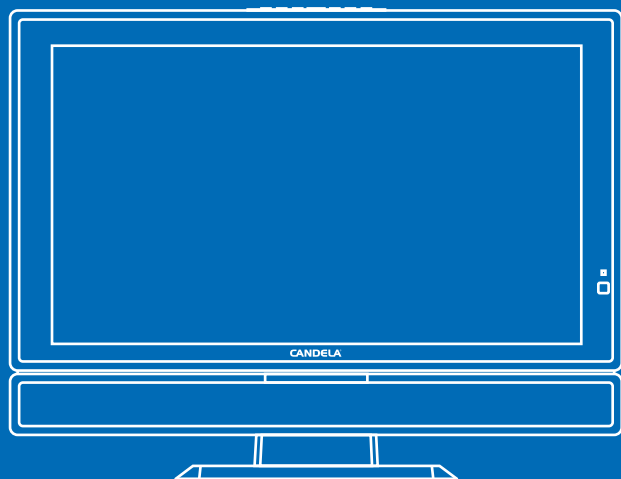


Liquid Crystal Display
CANDELA®
CLV27WA1/CLV32WA1

取扱説明書



はじめに

この度はCANDELA 製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- 本製品を安心してお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明な点などがある場合に再度お読みください。
- 保証書に、お買い求めいただいた販売店の名称と、お買い上げ日が記入されていることをお確かめください。

株式会社 **ディーオン**

Index

必ずお守りください	2
●安全上のご注意	2
ご利用上のご注意	4
●設置・清掃・その他の注意事項	4
準備をしましょう	6
1. 製品と付属品を確認しましょう	6
2. リモコンを準備しましょう	6
3. 接続の準備	7
各部の名称と機能	8
1. リモコン	8
2. 本体正面およびコントロール部	9
3. 本体側面	10
4. 本体背面	10
5. 各種接続端子	11
テレビのつなぎかた	12
1. アンテナ線のつなぎかた	12
2. 家庭のアンテナコネクタへのつなぎかた	13
BS/CSデジタルハイビジョンチューナーの接続	14
1. ビデオ、DVDデッキの接続	14
2. BS/CSデジタルハイビジョンチューナーの接続	14
3. 録画用のデッキを接続	15
4. 外部オーディオアンプとの接続	15
5. 電源コードの接続	15
コンピュータとの接続	16
1. すべての電源をオフ	16
2. ケーブルの接続	16
3. 電源コードの接続	16
4. 機器の電源を順番にオン	17
チャンネル設定をしましょう	18
1. 自動でチャンネルを設定	18
チャンネル1～12に割り当てる	20
1. チャンネルの割り当て	20
チャンネルのその他の機能	22
1. チャンネルの微調整・手動調整	22
2. チャンネルの表示・非表示を編集・チャンネルの編集	23
テレビを見る	24
1. テレビを見る	24
2. 音声を切り替える - ステレオ・主・副・モノラル	24
ビデオやDVDなどを見る - 入力の切替	25
1. 入力信号を切り替える	25
画面サイズの切り替え	26
1. 映像に合わせて画面サイズを切り替える	26
リモコンのできる音の操作	28
1. 音を消す - ミュート	28
2. 深夜に最適な音量にする - ナイトモード	28
3. 映像に合わせた臨場感のある音で聴く - サウンド	29
4. 広がりのあるリアルな音で聴く - SRS	29
映像に適した色合いにする	30
1. 好みの色味に変更する - ピクチャ	30
自動的にテレビの電源を切る省エネ設定	31
1. 一定時間経過で電源をオフする - スリープ	31
テレビの細かな設定ができるOSDメニュー	32
●テレビモードのOSDメニューの起動と終了	32
●OSDメニューの基本操作	33
●テレビのOSDメニュー詳細	34
PCディスプレイとしてのOSDメニュー	44
●PCモードのOSDメニューの起動と終了	44
●OSDメニューの基本操作	45
●ディスプレイのOSDメニュー詳細	46
困ったときは FAQ	54
保証とアフターサービス	56
仕様・表示モード	59

⚠ 安全上のご注意

- この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に発揮させ、安全にご利用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- この取扱説明書に掲載されているテレビのイラストや機能設定の画面は、実際の製品とは異なる場合があります。
- この取扱説明書と製品保証書は、大切に保管してください。製品保証書は、本製品を修理する場合など、当社のサポートをお受けいただく際に、ご提示いただく必要があります。
- 本製品に関するお問い合わせ、および、修理に関しましては、お買い上げになった販売店、または、当社テクニカルセンターまでご連絡ください。
- この取扱説明書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。最新の情報についてはテクニカルセンターまでお問い合わせください。
- この取扱説明書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、万が一、誤りや記載もれなどがございましたらテクニカルセンターまでご連絡ください。
- この取扱説明書の内容の一部、または、全部を無断で複製することは、個人でのご利用の場合を除いて、固く禁止いたします。
- 本製品の不当なご使用による、損害、逸失利益、または、第三者からのいかなる請求に関しまして、当社では一切その責を負いかねます。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた損害、および、逸失利益などに関しまして、当社では一切その責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全に関するご注意

- 水、湿気、油煙、湯気、ほこりなどの多い場所で使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用として設計、製造されています。一般家庭用以外の用途で 사용되는場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外になることがあります。
- 本製品は、日本国内用として製造・販売されています。国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、製品に関するサポートも国外では行なっていません。

液晶パネルの特徴

- TFT液晶パネルは、構造上、表示画面に黒い点(点灯しない点)、または輝点(光点)が見えることがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- TFT液晶パネルは、長時間映し出しておくと、残像が出たり、液晶パネルの寿命を短縮させる場合があります。画面を見ないときは、節電機能やスクリーンセーバーをご利用ください。(バックライトの寿命:約5万時間)
- TFT液晶パネルの蛍光管は、高圧蛍光管を使用しています。長時間使用すると、画面の一部または、全体が暗くなるか、チラチラする場合があります。その際は、販売店または、テクニカルセンターにご相談ください。

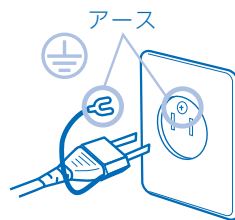
⚡ 電圧の確認

この製品に使う電源仕様はAC100Vです。ご利用可能な電源の種類がわからない場合は、販売代理店やお近くの電力会社にお問い合わせください。



⚡ アースの利用

この製品はアース端子を備えた3線式接地型プラグを使用しています。3線式接地型プラグはアース端子が用意された電源コンセントにのみ適合します。これは安全上の機能ですので、コンセントにアース端子を接続できない場合は、電気工事師に依頼してコンセントを交換してください。また、アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行なってください。アース接続を外す場合も、必ず電源プラグを、電源から切り離してから行なってください。



● 金属に注意

感電を避けるため、液晶テレビのケースのいかなる開口部・孔・隙間にも金属製の物体を挿入しないでください。



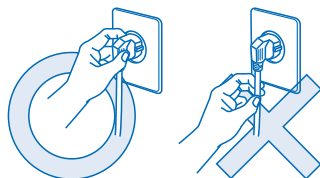
● 修理はプロに

感電を避けるため、ご自分で修理しないでください。液晶テレビのケースを開ける、または取り外すと高電圧やその他の危険要因と接触する可能性があります。専門のサービス員にお任せください。



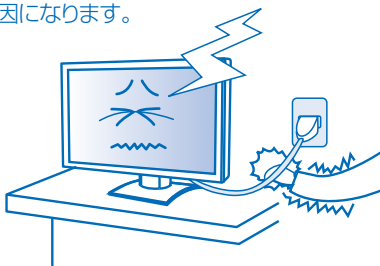
● プラグの抜き方

電源コンセントから、電源コードを抜くときは、コードではなく、プラグ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。



● 雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない

火災・感電の原因になります。



● 電源コードを大切に

破損した電源コードは、絶対に使わないでください。また、電源コードの上や周囲には物を置かないでください。電源コードが破損しやすくなります。



● 設置場所に気をつけて

本製品を、雨のあたる場所や水気の多い場所（台所やプールの近くなど）に置かないようにしてください。本製品が濡れてしまったときは、直ちに電源コードを外してテクニカルセンターにご連絡ください。



● 異音や異臭がしたら

本製品が正常に機能しないときや、異常音や煙、異臭などが発生した場合は、直ちにプラグを抜き、テクニカルセンターにご連絡ください。



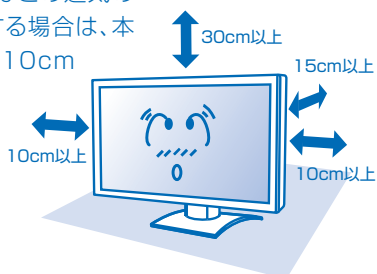
NOTE

ここに記載している注意事項は、本製品の電源に関することです。電源関連の事故は、火災につながったり、人体に多大な影響を及ぼすことがありますので、この記載事項は絶対にお守りください。本事項をお守りいただけない場合、利用者が受けたいかなる損害も、保証の対象外となりますので、ご了承ください。

⚠ 設置の注意事項

🔥 据付の際は壁から離す

本製品を、本棚などの通気の悪い場所に設置する場合は、本体と周囲との間に10cmのスペースを空けてください。



🔥 暑いのは苦手です

液晶テレビは、コンロ、ストーブ、オーブン、直射日光などの熱源や放射物に近づけないようにしてください。



🔥 清潔な場所に置いて…

本製品はホコリや湿気の多い環境で使用しないでください。



🔥 お子様にご注意

小さなお子様の手が届かない場所でお使いください。パネルに頻繁に触れると画面が汚れます。



⚠ 清掃の注意事項

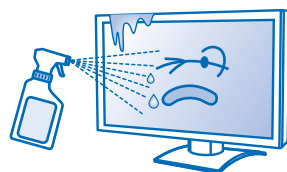
🔥 清掃はプラグを抜いて

本製品の清掃をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



🔥 清掃は優しく…

清掃時は、本体と付属品が破損していないかチェックします。画面またはケースに直接スプレーをかけたり、液体をこぼしたり付けたりしないでください。水または非アンモニア系、非アルコール系のガラスクリーナを使用して、湿った柔らかいきれいな布でやさしく拭いてください。



⚠ その他の注意事項

🔥 優しく扱って…

指や硬いもので画面に触れないようにしてください。皮膚の油脂は除去が難しく、画面に触るとパネルを傷つける恐れがあります。



🔥 載せないで…

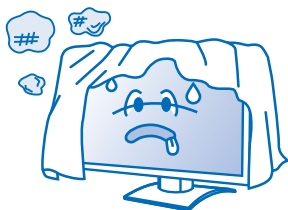
液晶テレビの上に、物を置かないでください。





塞がないで…

本体にある開口部は換気用です。過熱を防ぐため、開口部を塞がないよう注意してください。本製品に布などの柔らかいもの被せて、開口部を塞がないように注意してください。

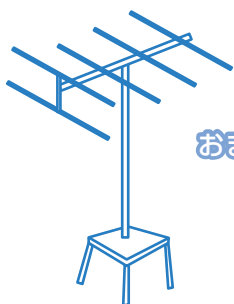


長期の旅行、外出のときは電源プラグをコンセントから抜いてください



アンテナ工事はプロにお任せ

アンテナ工事が必要な場合は、必ず販売店にご相談ください。アンテナを設定する場所に送電線などがあると、感電の危険があります。



NOTE

ここに記載している注意事項は、本製品を、最良の品質を保った上で、末永くお使いいただくためのものです。本事項をお守りいただけない場合、品質の低下や故障の原因となりますのでご注意ください。特に、ここに明記されていないクリーナーを使用して本製品を清掃した場合のいかなる損傷についても、保証の対象外となります。



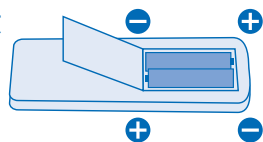
日本国内専用

本製品は日本国内専用に設計されています。国外での利用は保証の対象外となります。



乾電池取扱いの注意

- 乾電池のプラス $+$ とマイナス $-$ の向きに注意して正しく入れてください。
- 乾電池を装着するときは、マイナス $-$ 側から入れてください。



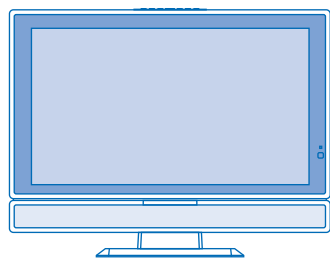
- 乾電池を分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- メーカーや種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池を交換するときは、すべての電池を新しいものに交換してください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。
- 上記をお守りいただけないと、乾電池の破損、液漏れにより、火災や怪我をしたり、周囲を汚す原因になります。
- アルカリ乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときはきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。



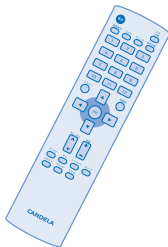
準備をしましょう

実際の製品や付属品と、本取扱説明書に掲載されているイラストは異なることがあります。

1 製品と付属品を確認しましょう



本体…1台



リモコン…1台



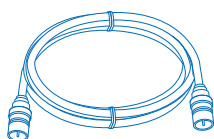
単4形乾電池…2個



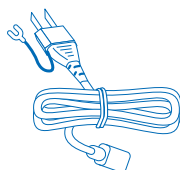
取扱説明書…1冊



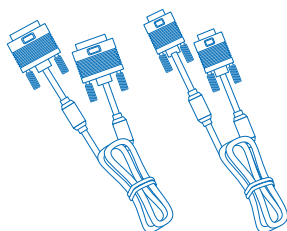
保証書…1枚



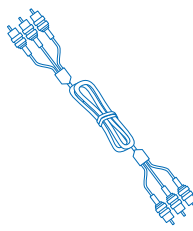
アンテナ接続ケーブル…1本



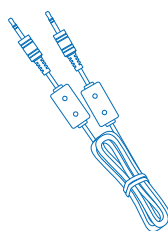
電源コード…1本



デジタルアナログケーブル…各1本



コンポジットケーブル…1本

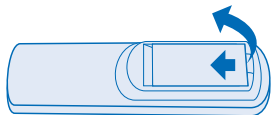


オーディオケーブル…1本

2 リモコンを準備しましょう

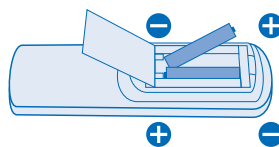
単4乾電池を2個使用

1 裏ボタンをはずします



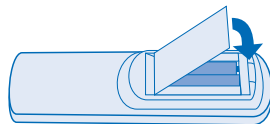
押しながら引き上げて
ください

2 +・-をよく確かめて 側から入れてください



⚠ 乾電池は+側から入れて
ください

3 裏ボタンを閉じます

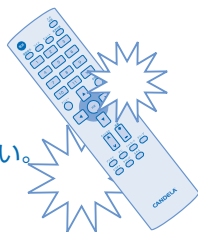


NOTE ■ 乾電池の寿命は約1年です。

- 乾電池には寿命があります。本製品のリモコンで使用すると、乾電池は約1年で使えなくなります。リモコンが使えなくなったら、乾電池を2つとも新品と交換してください。
- 種類や製造メーカーが異なる乾電池を混在して使うことや、新品と中途使用の乾電池を混在して使うことはやめてください。

リモコンの取扱い

落としたり
衝撃を与え
ないでください。



水をかけたり、
ぬれたものの上
に
おかないでください。



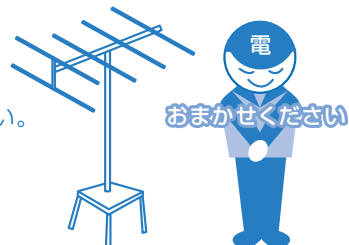
ベンジン、
シンナーなど
揮発性の液体で
ふかないでください。



3 接続の準備

1 アンテナ線を接続する P.12~P13 >>>

アンテナ工事はプロにお任せください。工事の際は販売店にご相談ください。
アンテナの定期的な点検、交換により美しい映像を見ることができます。



2 ビデオやオーディオ機器をつなぐ P.14~P15 >>>

お使いのAV機器(ビデオデッキやオーディオ機器)を接続します。

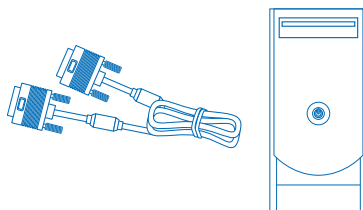


NOTE

AV機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

3 コンピュータをつなぐ P.16~P17 >>>

お使いのコンピュータを接続します。



NOTE

コンピュータの取扱説明書もあわせてご覧ください。

4 電源プラグを差込む P.15、P16 >>>



NOTE

AC100Vコンセントをご使用ください。



5 「チャンネル検索」でチャンネルを自動設定をする P.18~P19 >>>

本製品には、「チャンネル検索」という、自動でチャンネルを設定する機能が搭載されています。
アンテナなど、すべての接続が完了したら、まずは、「チャンネル検索」を実行してください。
VHFはもちろん、UHFやCATVなども自動でチャンネルが割り振られます。

各部の名称と機能 1

本製品を快適にお使いいただくために、リモコンとテレビ本体にある各部の役割を覚えてください。
本体前面にあるボタンで操作できることは、リモコンでもすべて行なえます。

1 リモコン

ワイドボタン P.26~P.27

画面のサイズが、ボタンを押すごとに切り換わります。

電源ボタン

電源をオン・オフするボタンです。

画面表示ボタン

現在表示されている映像信号の情報や、本製品の設定情報を表示するボタンです。約30秒表示します。もう一度押すと、すぐに非表示になります。

チャンネルボタン1

番号でチャンネルを選択するボタンです。

メニューボタン P.32~P.33

テレビとして、コンピュータ用ディスプレイとして、各種設定を行なうためのOSDメニューを表示させるボタンです。もう一度押すと、OSDメニューを閉じます。

- 決定 … 項目の選択や、設定した値を決定する。
- ▲ … 項目を上下に移動する。
- ◀ ▶ … 項目を左右に移動。項目の値の増減にも使用。

チャンネルボタン2

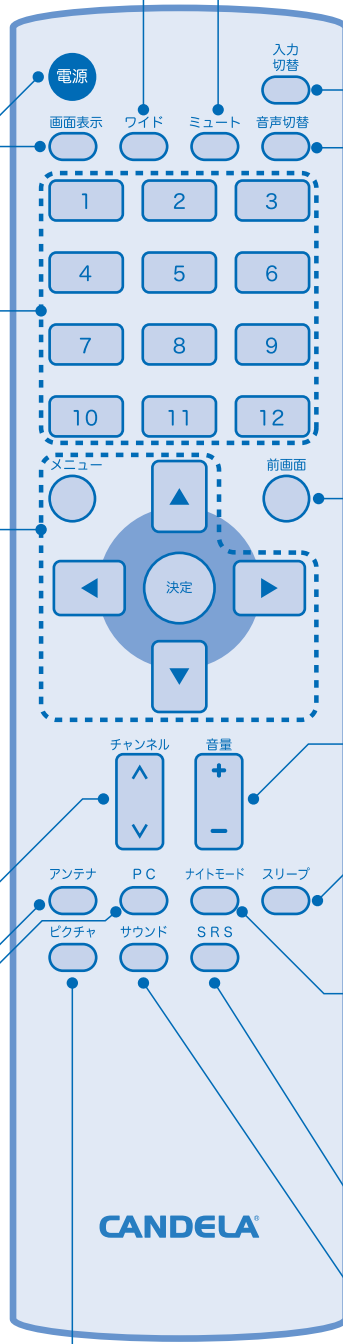
TV(テレビ)チャンネルを選択するボタンです。Aで順送り、Vで逆送りでチャンネルが切り替わります。

アンテナボタン P.24

チャンネルボタンを、地上波(アンテナ)、または、CATV(ケーブル)のチャンネル選択に切り替えるボタンです。画面に「アンテナ_」か、「ケーブル_」が表示中に、チャンネルボタンを押します。入力信号がVGAのときに押すと、テレビに切り替わります。

PCボタン P.44

入力信号を、コンピュータに直接切り替えるボタンです。ボタンを1回押すとアナログ(VGA)信号に、もう一度押すとデジタル(DVI)信号に切り替えます。



ミュートボタン P.28

無音にするボタンです。もう一度押すと元の音量に戻ります。

入力切替ボタン P.25

テレビへの入力信号を切り換えるときに押します。入力切替用のOSDメニューが表示されます。

音声切替ボタン P.24

ボタンを押すごとに、音声が「ステレオ」→「副音声」→「主音声」→「モノラル」に切り替わります。

前画面ボタン

チャンネル切り替え時、ひとつ前のチャンネルに戻すボタンです。

音量ボタン

音量を調節するボタンです。+を押すと音量が大きく、-を押すと音量が小さくなります。

スリープボタン P.31

テレビモード時、何分後に自動で電源をオフするかを設定します。10、20、30、60、120、180分で設定できます。

ナイトモードボタン P.28

ここを押して「深夜オン」に設定すると、現在設定されている音量が半分程度に下がります。その際、レベルの高い音は弱くし、レベルの低い音をはっきりとさせるので、深夜でも周囲に迷惑をかけることなく、クリアな音が楽しめます。

SRSボタン P.29

人の耳に自然なサラウンドを実現するSRSをオン・オフします。

サウンドボタン P.29

スピーカーの出力を「音声」、「ミュージック」、「映画」のそれぞれに適したモードに切り替えます。「パーソナル」を選べば、OSDメニューのイコライザでのユーザー設定が適用されます。

ピクチャボタン P.30

映像のプリセットを切替ます。「映画」→「スポーツ」→「弱信号」→「マルチメディア」→「パーソナル」

2 本体正面およびコントロール部

実際の製品や付属品と、本取扱説明書に掲載されているイラストは異なることがあります。



HINT

リモコンと同じ表示のボタンは、リモコンと同じはたらきをします。

OSDメニューを表示させるボタンです。 **P.32、P.44** ➡

OSDメニュー表示中は、決定ボタンとして機能します。

チャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。 **P.32、P.44** ➡

OSDメニュー表示中は上下の移動キーとして使えます。

テレビへの入力信号を切り換えるときに押します。 **P.32、P.44** ➡

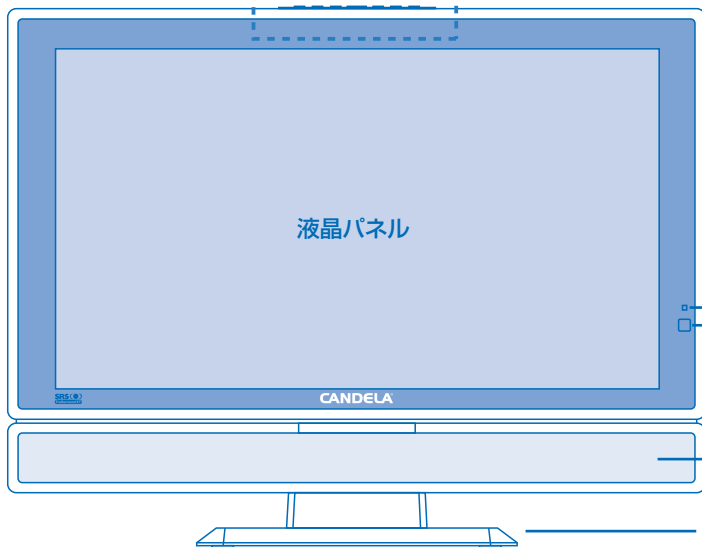
ここを押すと、入力信号切り換えのOSDメニューが表示されます。

コントロール部



主電源が入っているとき電源をオン/オフできます。

音量を調整します。
OSDメニュー表示中は左右の移動キーとして使えます。



液晶パネル

電源/スタンバイインジケータ

主電源オンで使用中……………青色
主電源オンで未使用时……………橙色
主電源オフ時……………消灯

リモコン受光部

リモコンは、ここに向けて操作します。

スピーカー

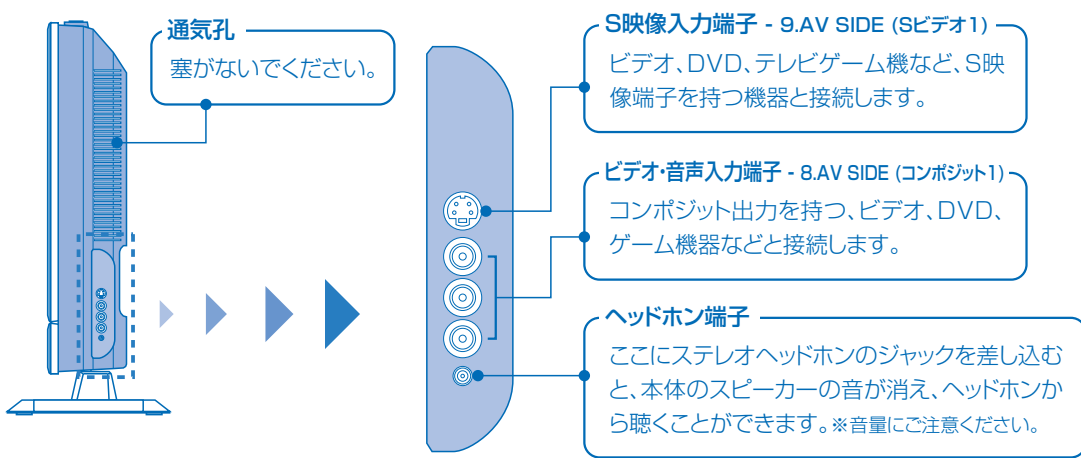
スタンド



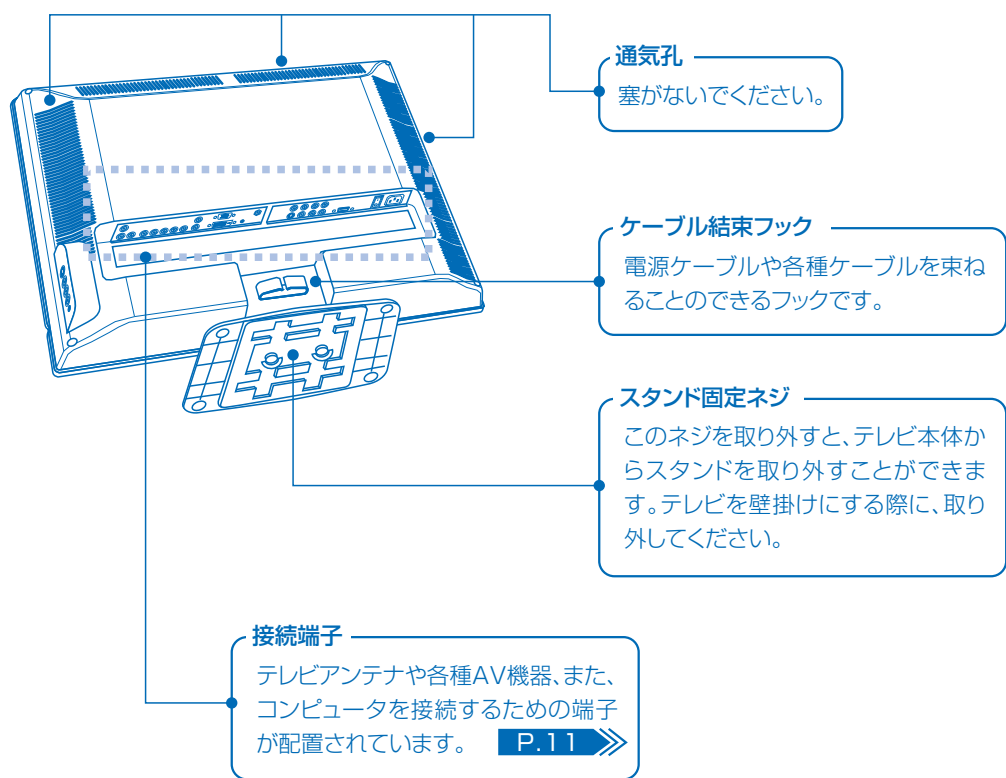
NOTE

液晶テレビでは、ゲーム用の光線銃などの画面に向けて使うゲーム機器が正しく動作しないことがあります。

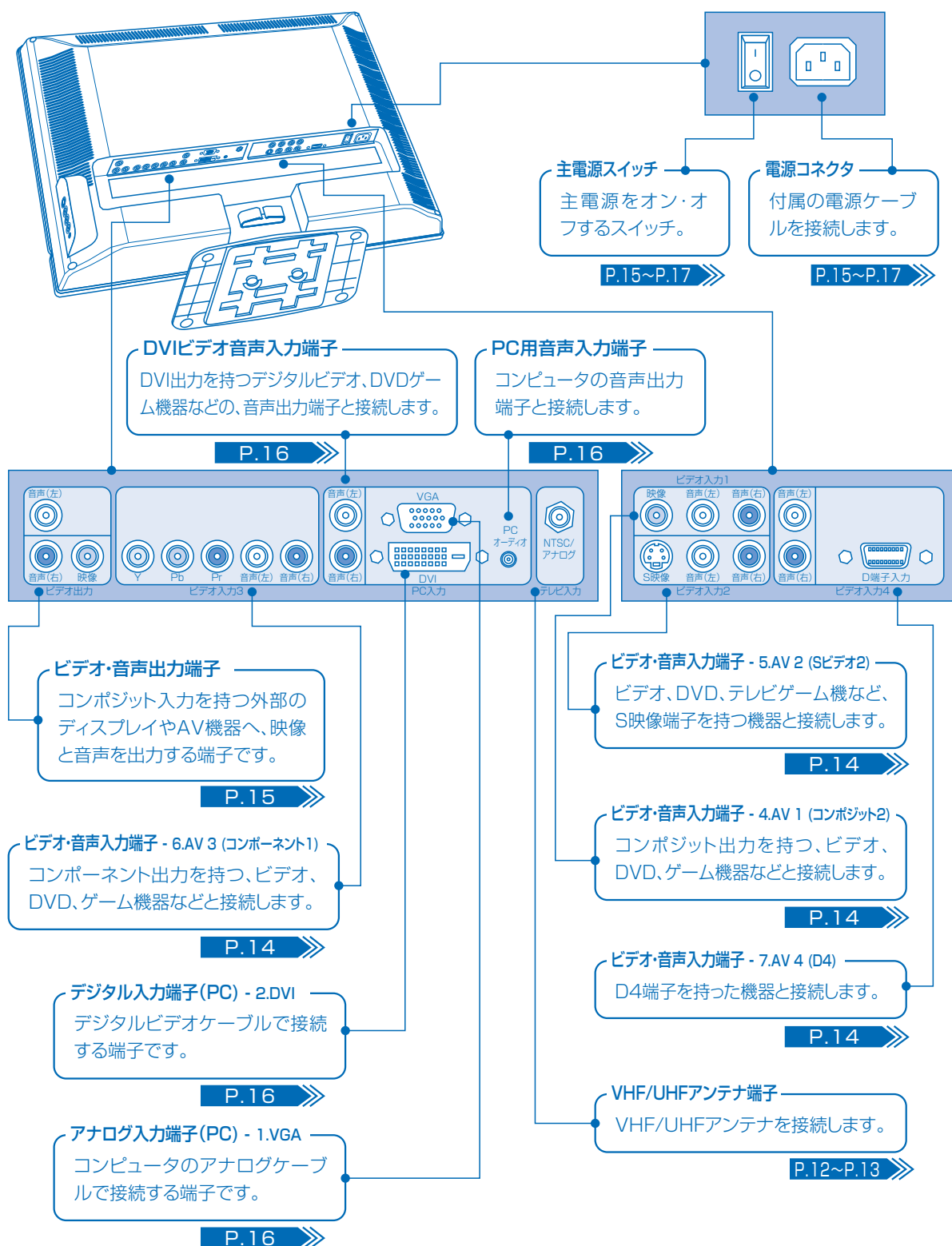
3 本体側面



4 本体背面



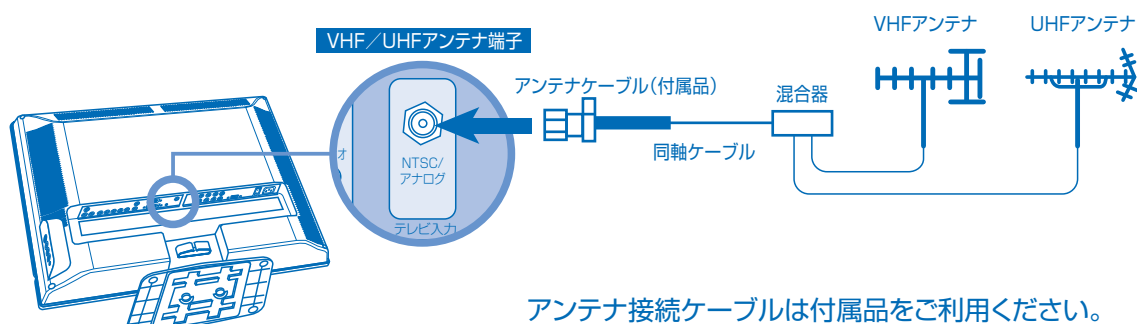
5 各種接続端子



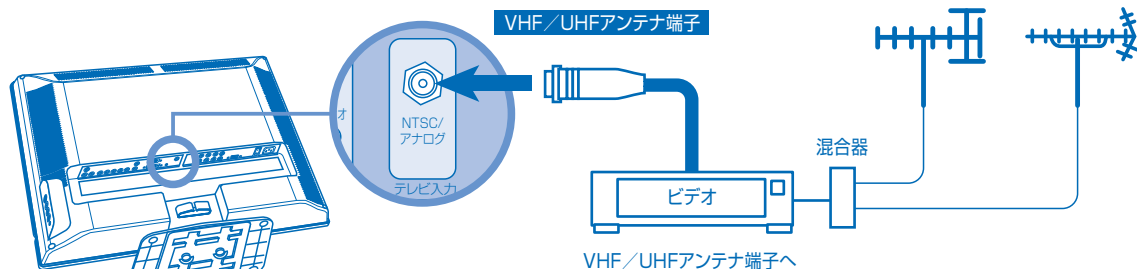
テレビのつなぎかた - アンテナ

本製品をきれいな映像でご覧いただくためには、アンテナへの接続が必須です。
アンテナ線の形状によっては、その接続方法が異なりますので、下図を参考にして確実に接続してください。

1 アンテナ線のつなぎかた



ビデオを通して接続するとき



NOTE

- アンテナ線の接続には、付属のアンテナ接続ケーブルか、F型コネクタが付いた市販のアンテナ接続ケーブルをご利用ください。
- 平行フィード線やF形以外の同軸ケーブル用コネクタは、パソコンや他のAV機器からのノイズを受けやすくなりますので、使わないでください。



HINT

映像にしまが出たり、縦線状のノイズが出るとき

アンテナ線へのノイズの影響が原因です。アンテナ接続部のシールドを強化することで、ノイズの影響を抑えられ、よりきれいな映像でご覧いただくことができます。詳しくは販売店にお尋ねください。



HINT

アンテナの定期的な点検・交換を

アンテナは屋外にあるため傷みややすく性能が低下します。映りが悪い時は販売店にご相談ください。



HINT

アンテナの設置場所

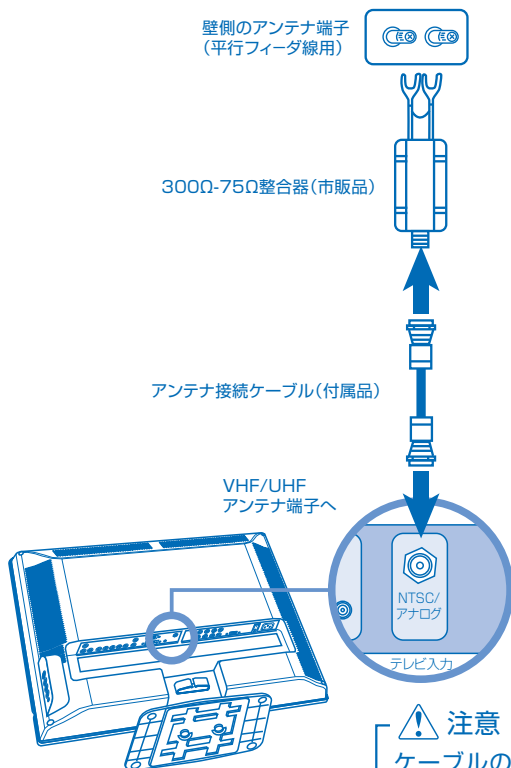
きれいな映像でご覧いただくために、道路や線路、送電線から離れた場所にアンテナを設置してください。また、ネオンサインも大きなノイズを発生しますので注意が必要です。なおアンテナ工事は販売店にご相談ください。

2 家庭のアンテナコネクタへのつなぎかた

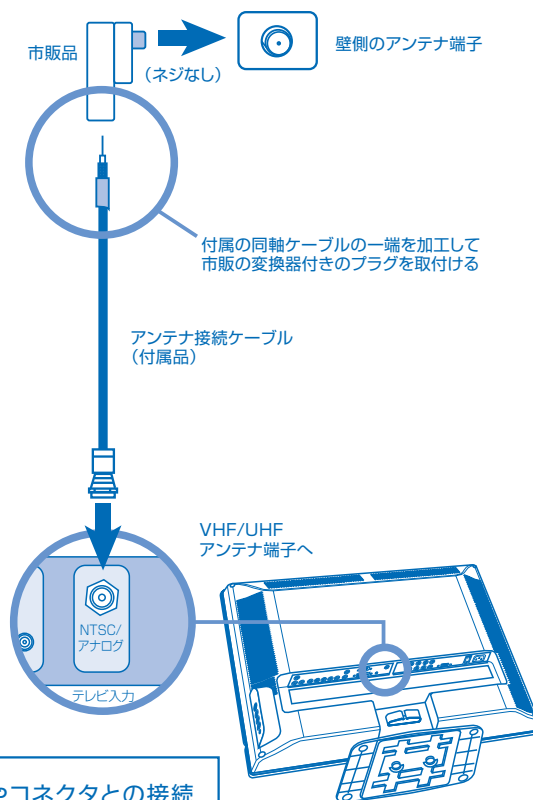
平行フィーダのつなぎかた

■ 壁側の端子が平行フィーダ線用の場合

下図のような市販の整合器(300Ω-75Ω)を接続したうえで、アンテナ接続ケーブル(付属品)でVHF/UHFアンテナ端子に接続してください。



■ 壁側の端子がプラグ用の場合



注意

ケーブルの加工時やコネクタとの接続時に、けがをしないようご注意ください。



NOTE

- 平行フィーダ線はノイズを受けやすいので、ノイズを発生する恐れのあるAV機器やパソコンを、テレビ本体から離して設置してください。
- お部屋の壁にあるアンテナ端子が平行フィーダ線用の場合は、販売店にご相談ください。



HINT

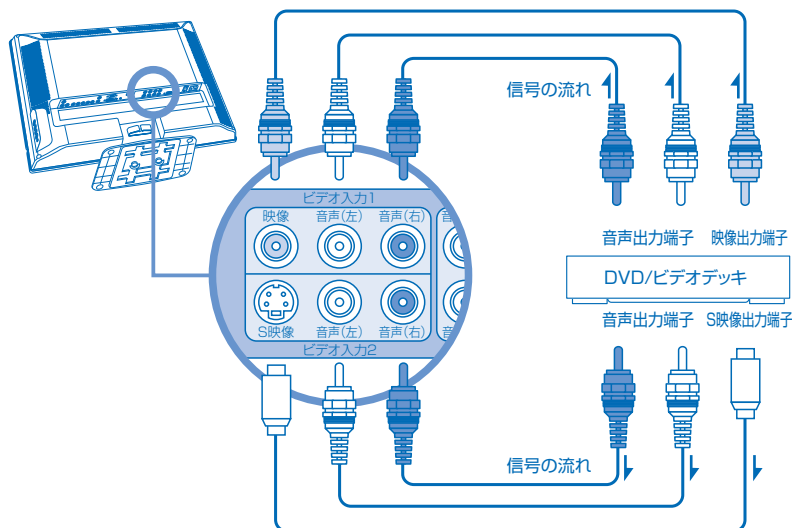
-- 地上波デジタル放送への移行について --

- 2011年7月で従来の放送は終了!
2003年12月から始まった(関東、中京、近畿)地上波デジタル放送は、2006年末までに、全国規模(一部地域を除く)で放送が開始される予定です。(順次拡大予定)また、国の方針として、地上波アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが決定されています。
- 本製品でデジタル放送をご覧になるには
市販されているデジタルチューナーを接続することで、デジタル放送をご覧になります。ただし、画質や画面の縦横比(アスペクト比)はテレビの種類によって異なります。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。

BS/CSデジタルハイビジョンチューナーの接続

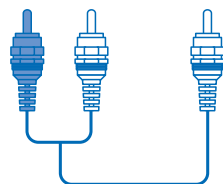
このテレビは4系統の映像・音声入力端子と、さらにひとつのD4映像・音声入力端子がありますので、AV機器を5台まで接続できます。

1 ビデオ、DVDデッキの接続 例:ビデオ入力1または2に接続する場合

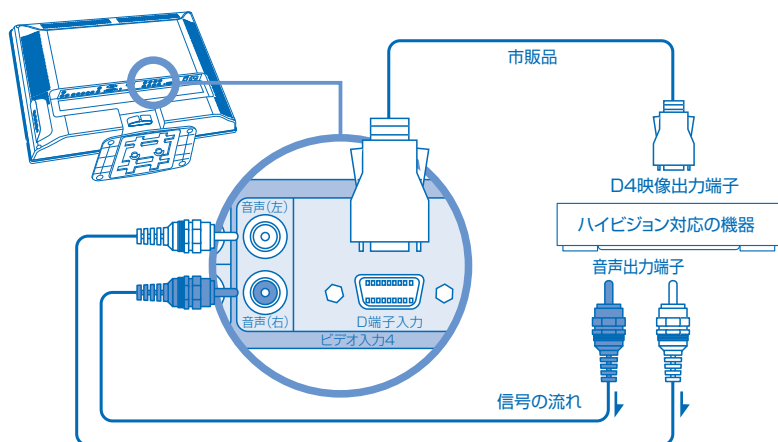


HINT モノラル音声端子との接続

AV機器の音声端子がモノラルの場合、下図のような片側1 ↔ 片側2のピンプラグケーブルで接続してください。



2 BS/CSデジタルハイビジョンチューナーの接続

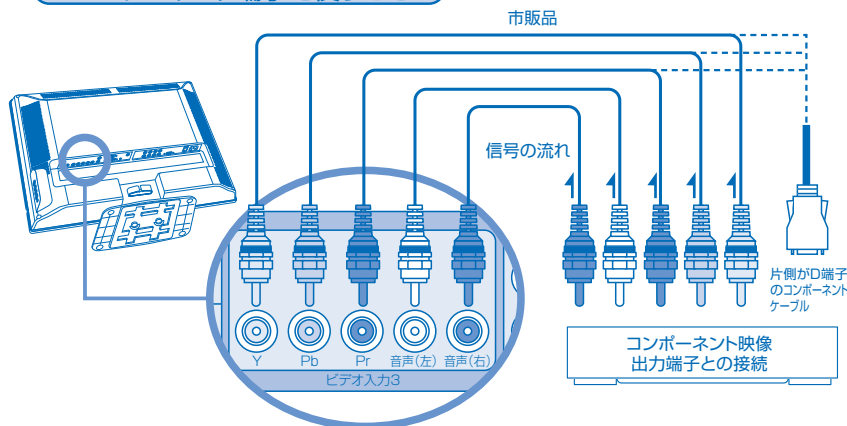


HINT D4端子とは

D4端子とは、デジタル放送を高画質で見るためのAV機器の映像端子のことで、BS/CSデジタルハイビジョン放送、および地上波デジタルにも対応可能な、デジタル高画質を実現するアナログビデオ端子です。

注意! D端子に接続したAV機器の信号は、ビデオ出力端子から出力できません。

コンポーネント端子を使うとき



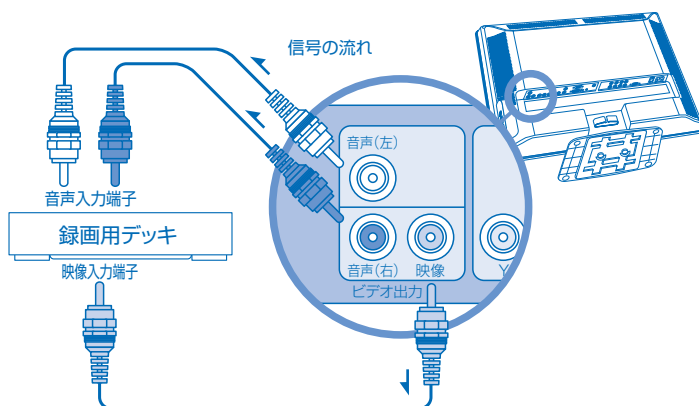
NOTE

- 雑音や映像ノイズなどの原因となりますので、プラグは端子の奥までしっかりと差し込んでください。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜取ってください。
- AV機器をつないだ際に映像の乱れや雑音が発生するときは、各機器を十分に離れてみてください。
- AV機器によっては接続方法が本取扱説明書に記載されている方法と異なる場合があります。実際の接続では、接続するAV機器の説明書も併せてお読みください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

それぞれの端子は用途によって色分けがされています。端子と同じ色のプラグを接続してください。
黄-映像、白-音声・左、赤-音声・右

3 録画用のデッキを接続

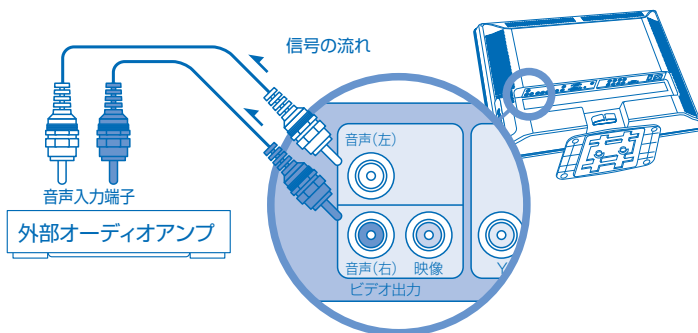
本製品に、録画側機器を接続します。



外部機器(ディスプレイ等)に
TV映像を映す場合

D映像入力端子、S映像入力端子、コンポジット入力端子からの映像を外部機器(ディスプレイ)に正常な状態で出力することができません。TV映像の出力としてご利用ください。

4 外部オーディオアンプとの接続(TVモード時のみ)



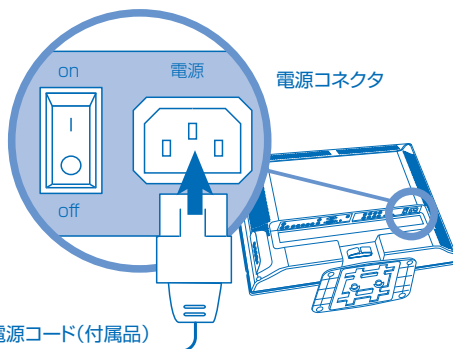
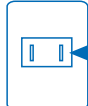
本機の音声出力端子から、外部オーディオアンプの入力端子へ接続すれば、外部オーディオアンプを介して外部スピーカーを利用できます。(TVモード時のみ)

※外部オーディオアンプへ接続した場合、音量・音質などの操作は外部機器側での操作になります。外部接続機器のマニュアルを参照ください。

5 電源コードの接続

電源プラグは、後で抜き差ししやすい場所にあるコンセントを使ってください。

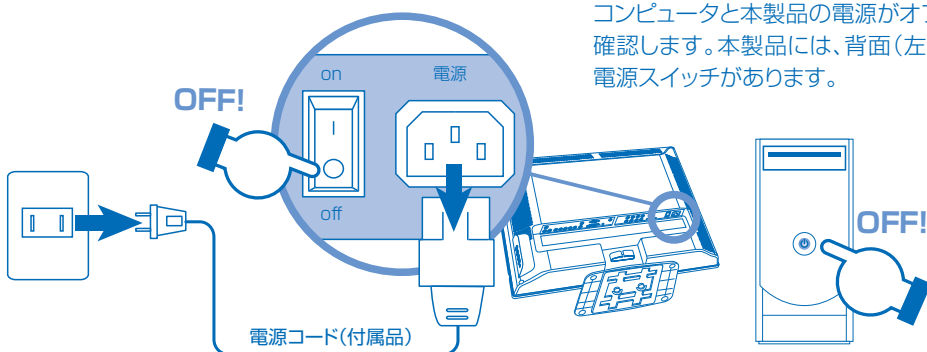
2芯コンセント



注意

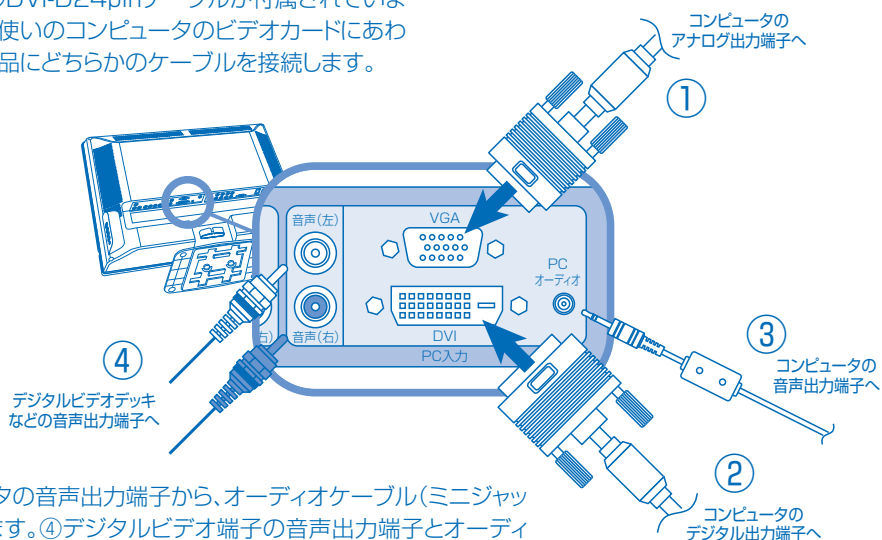
付属の電源コード以外は使用できません。火災・感電・電波妨害の原因になります。付属の電源コードは本機専用のため、他の機器には使用できません。

1 すべての機器の電源をオフ



2 ケーブルの接続

本製品には、①アナログD-Sub 15pinケーブルと、②デジタルDVI-D24pinケーブルが付属されていますので、お使いのコンピュータのビデオカードにあわせて、本製品にどちらかのケーブルを接続します。

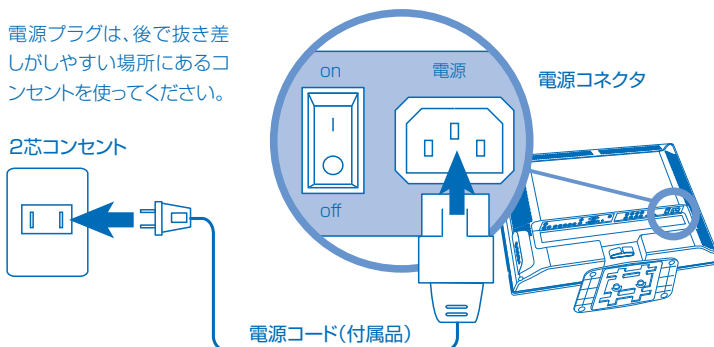


③コンピュータの音声出力端子から、オーディオケーブル(ミニジャック)で接続します。④デジタルビデオ端子の音声出力端子とオーディオケーブル(2端子)で接続します。※DVI端子がビデオ信号として認識した場合に使用できます。(PC信号では動作しません)

3 電源コードの接続

電源プラグは、後で抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを使ってください。

2芯コンセント

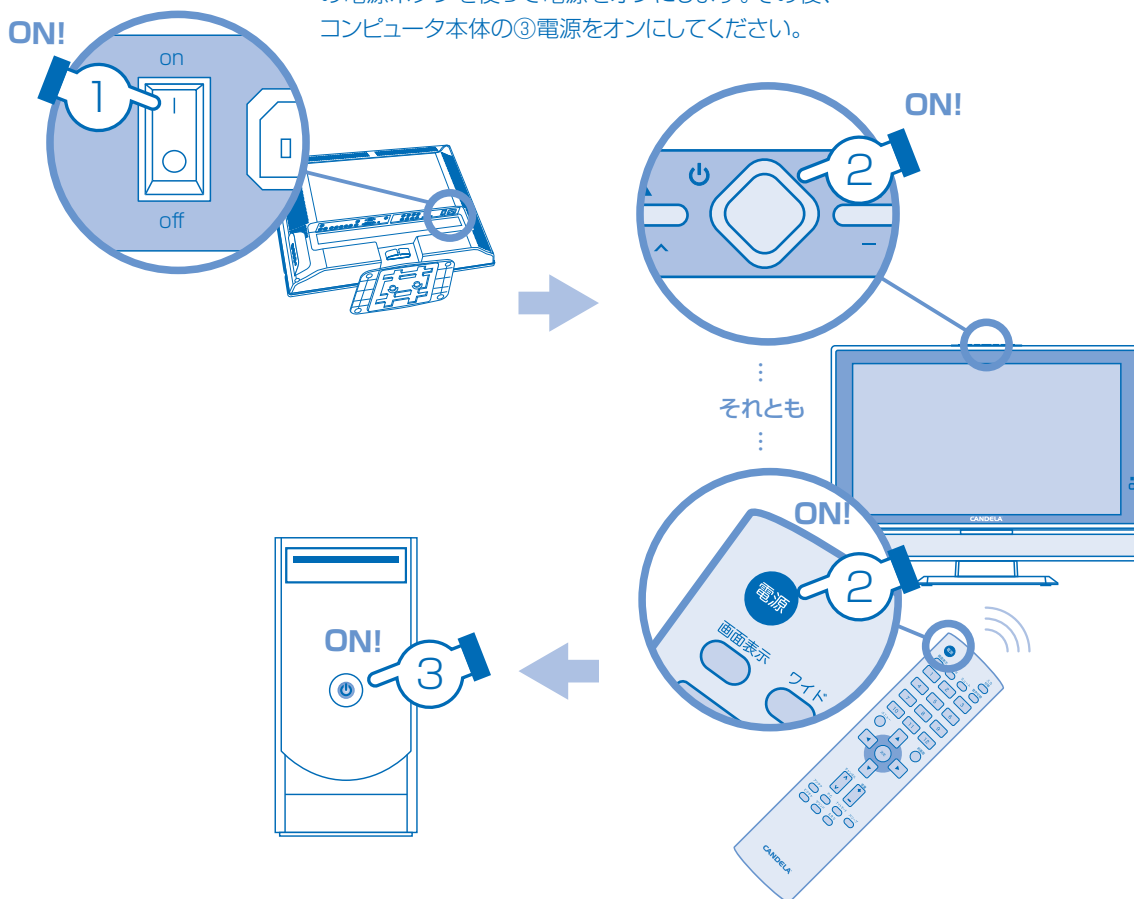


⚠ 注意

付属の電源コード以外は使用できません。火災・感電・電波妨害の原因になります。付属の電源コードは本機専用のため、他の機器には使用できません。

4 機器の電源を順番にオン

すべての接続が完了したら、まず、本製品の背面にある①メイン電源スイッチをオンにしてから、本製品の上部にある②パワースイッチ、または②リモコンの電源ボタンを使って電源をオンにします。その後、コンピュータ本体の③電源をオンにしてください。



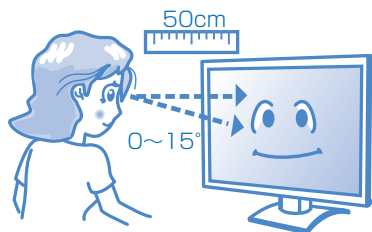
NOTE

ケーブルを接続するときや、長時間使わないときは、メイン電源を切るようにしてください。



NOTE

目の疲れを最小限に抑えるため、液晶モニタは50cm以上離し、少し見下ろす位置に設置してください。



その他



NOTE

●チャンネル検索とは
受信可能な地上波放送局(VHF、UHF)およびCATVをチャンネルボタンに自動的に設定する機能です。UHF放送があるときは、VHF放送の割り当てられていないボタンに設定されます。受信可能な地上波放送局が13以上あるときは、13チャンネル以降に割り当てられます。13チャンネル以降のチャンネルを表示させるには、 ボタンを押して「アンテナ-」表示中に、チャンネルボタンで該当するチャンネル番号を押します。CATV放送が受信できる場合は、チャンネルボタンC13～C63に割り当てられます。チャンネルボタンC13～C63を選局するときは、 ボタンを押して、「ケーブル-」表示中に、チャンネルボタンで該当するチャンネル番号を押します。

●自由に設定するときは
チャンネルボタンに放送局を自由に設定したいときは、一度チャンネル検索を終了させた後で、「チャンネルの割り当て」で変更してください。

P.20～P.21

手順6 チャンネルの検索と自動割当が始まる



チャンネル検索は、完了するまで数分かかります。検索したチャンネルは、自動的にチャンネル番号が割り当てられます。割り当てられたチャンネル番号は、手動で変更することができます。

P.20～P.21

手順7 検索が終了すると、以下の画面に戻る

 ボタンを押してメニューを閉じる



NOTE

◆CATVの設定

本機では、CATV放送のC13チャンネル～C63チャンネルまで受信することができます。CATV放送は、CATV会社と受信契約が必要です。詳しくはCATV会社にお問い合わせください。

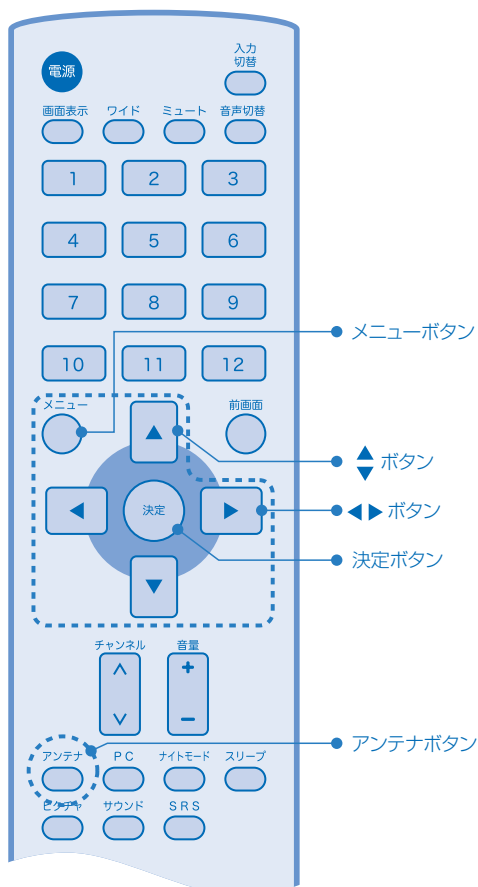
◆共同受信をされているお客様

マンション・アパートなどで共同受信をされている場合、チャンネル表示と画面が一致しない場合があります。チャンネルの割り当てで変更してください。

チャンネル1～12に割り当てる

チャンネル検索 **P.19** で自動的に割り当てられたチャンネルを、好みの設定で1～12のチャンネルボタンに手動割り当ててみましょう。

1 チャンネルの割り当て



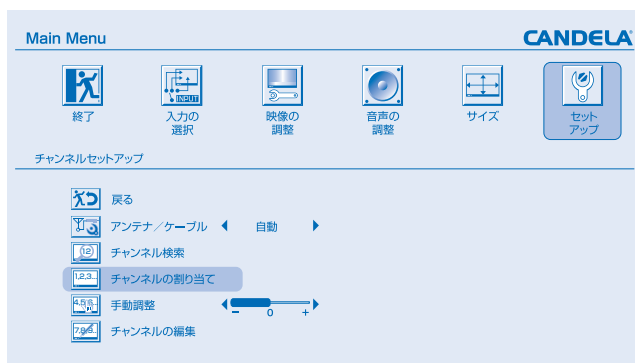
この手順では、点線の枠で囲まれているボタンのみを使います。

手順 1 アンテナ を押してテレビモードにする

手順 2 メニュー を押してOSDメニューを表示させる
 ◀▶ を押して セットアップを選択
 ▲ を押して チャンネルセットアップを選択して、リモコンの 決定 を押す



手順 3 ▲ を押して 12.3 チャンネルの割り当てを選択
 決定 を押す



- 手順 4 で をそれぞれ選択
 で設定値を変更
 で確定



リモコン番号と受信チャンネルを で変更すると、画面に映されている映像も、チャンネルにあわせて変わります。放送されている内容を確認しながら、割り当てることができます。チャンネル表示を変更しても、放送は変わりません。



NOTE

●チャンネル表示とは

「チャンネルの割り当て」で変更した「チャンネル表示」は、通常モード（OSDメニューを終了した状態）において、チャンネルボタンなどでチャンネルを変更した際に、画面左上に表示されるチャンネル内容の表示に影響します。

画面表示

ボタンで表示される情報にあるチャンネル情報では、割り当てたリモコンのチャンネルボタンの番号が表示され、「チャンネル表示」で設定した内容は表示されません。

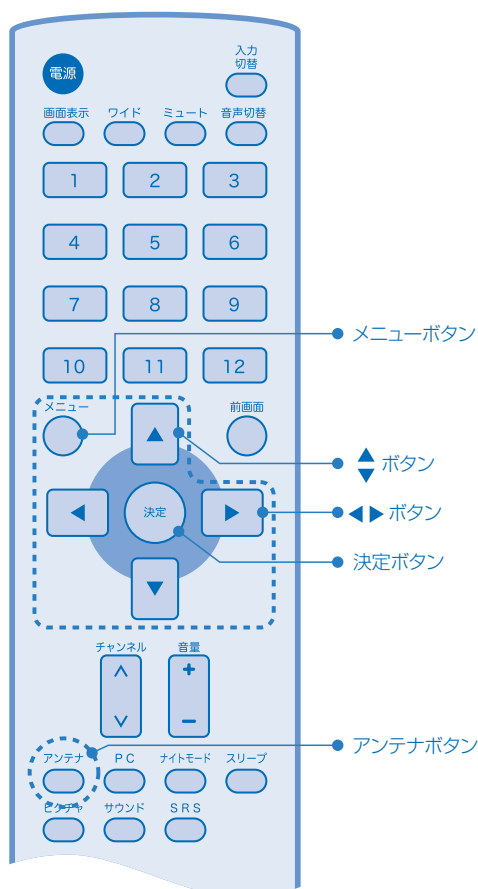


HINT -- 好きな番号にできる --

「チャンネルの割り当て」は、本製品が自動的に割り当てたチャンネルを基にして、特定の局を好みのチャンネル番号に割り当てることができます。割り当てできるのは、リモコンのチャンネルボタンの1～12までです。

- 手順 5 割り当てが終了したら
 メニュー ボタンを押してメニューを閉じる

1 チャンネルの微調整 - 手動調整

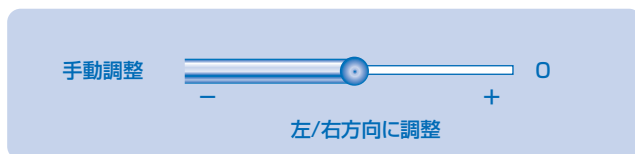


この手順では、点線の枠で囲まれているボタンのみを使います。

- 手順 1**
- アンテナを押してテレビモードにする
 - メニューを押してOSDメニューを表示させる
 - ◀▶を押して セットアップを選択
 - ◀▶を押して チャンネルセットアップを選択して、リモコンの **決定** を押す
 - ◀▶を押して 手動調整を選択
 - 決定** を押す



- 手順 2** ◀▶を押してチューニング(調整)する

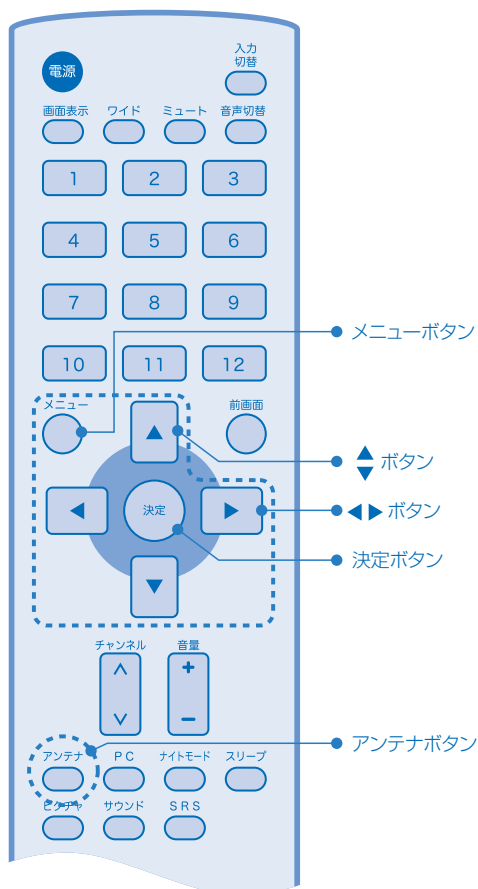


HINT …映りが悪いときに…

「手動調整」は、自動で割り当てたチャンネルの映りが良くないときに、電波を微調整できます。+方向に50ステップ、-方向に50ステップずつ調整できます。「0」の状態が、本製品が自動で割り当てた電波状態です。

チャンネル検索 **P.19** で自動的に割り当てられたチャンネルのうち、 ボタンで表示させたくないチャンネルを削除したり、現在表示されていないチャンネルを追加したりします。

2 チャンネルの表示・非表示を編集する - チャンネルの編集



この手順では、点線の枠で囲まれているボタンのみを使います。

手順 1

アンテナ を押してテレビモードにする

メニュー を押してOSDメニューを表示させる

を押して セットアップを選択

を押して チャンネルセットアップを選択して、リモコンの を押す

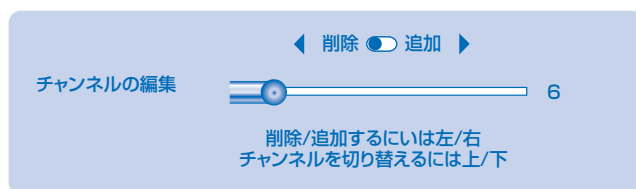
を押して チャンネルの編集を選択
 を押す



手順 2

を押してチャンネルを選択

を押して「追加」か「削除」を設定



HINT 映りが悪いチャンネルを非表示にする

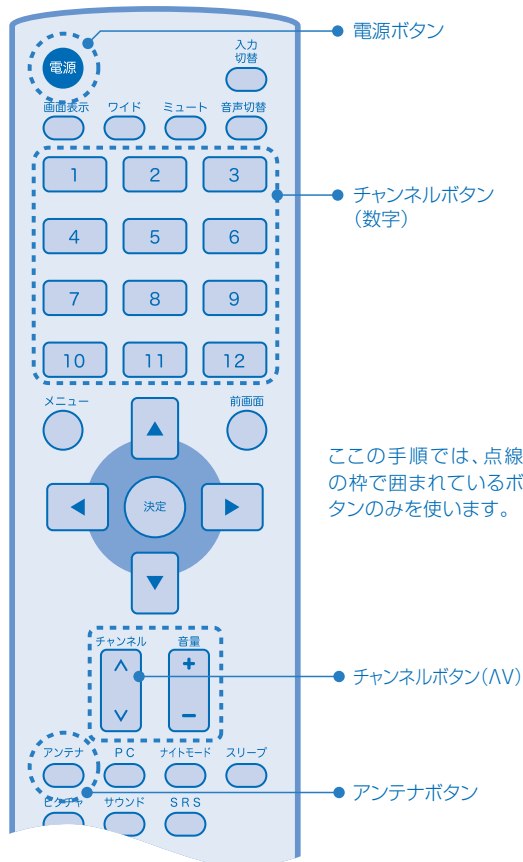
「チャンネルの編集」を使うと、「チャンネルの検索」で自動登録されたチャンネルの「追加」と「削除」ができます。自動登録されたチャンネルには、電波の弱いチャンネルなどがあり、「手動調整」でも調整しきれない場合など、「チャンネルの編集」で「削除」することで、リモコンのチャンネルボタン(△▽)でスキップされ、表示されなくなります。(数字のチャンネルボタンでは表示されます)一度「削除」したチャンネルは、「追加」に設定しなおすことで、表示させることができます。

テレビを見る

テレビを見るには、あらかじめアンテナが本機へ接続されていなければいけません。

P.12~P.13 》》》を参考にして、接続を済ませてください。

1 テレビを見る



この手順では、点線の枠で囲まれているボタンのみを使います。

手順 1 電源 を押してテレビの電源をオンにする

手順 2 アンテナ を押してテレビモードにする

手順 3 チャンネルを選ぶ

一般のテレビを見る

アンテナ を押して画面に「アナログ--」が表示されている間にチャンネルボタン(数字)を押す。

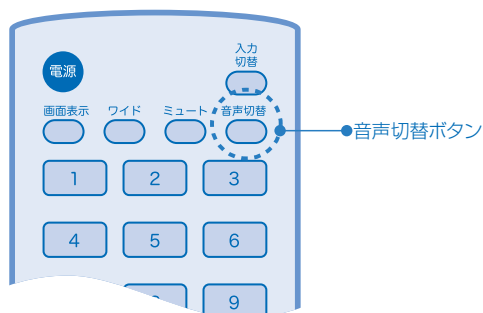
CATV放送を見る

アンテナ を押して画面に「ケーブル--」が表示されている間にチャンネルボタン(数字)を押す。



手順 4 音量 + を押して音量を調節する
「+」で音量を上げ、「-」で下げる

2 音声を切り替える - ステレオ、主音声、副音声、モノラル



手順 1 音声切替 を押して音声の種類を選択する

→ステレオ→主音声→副音声→モノラル

音声切替 を押すたびに音声の種類が変わります。



NOTE

音声の切替のうち、「主音声」と「副音声」は、二ヶ国語放送に番組が対応していないと効果がありません。また、「ステレオ」は、番組がステレオ放送でないと効果がありません。

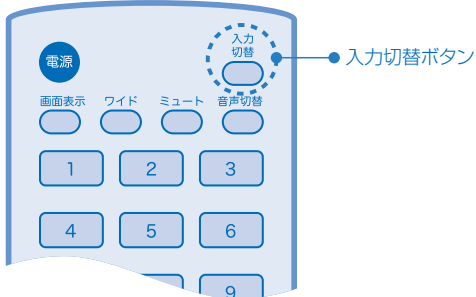


ビデオやDVDなどを見る - 入力の切替

テレビを見るには、あらかじめアンテナが本機へ接続されていなければいけません。

P.12~P.13 を参考にして、接続を済ませてください。

1 入力信号を切り替える



手順 1 入力切替 ボタンを押して入力の選択画面を表示

入力の選択

- 戻る
- 1.VGA
 - 2.DVI
 - 3.TV
 - 4.AV1 (コンポジット 2)
 - 5.AV2 (Sビデオ 2)
 - 6.AV3 (コンポーネント 1)
 - 7.AV4 (D4)
 - 8.AV SIDE (コンポジット 1)
 - 9.AV SIDE (Sビデオ 1)



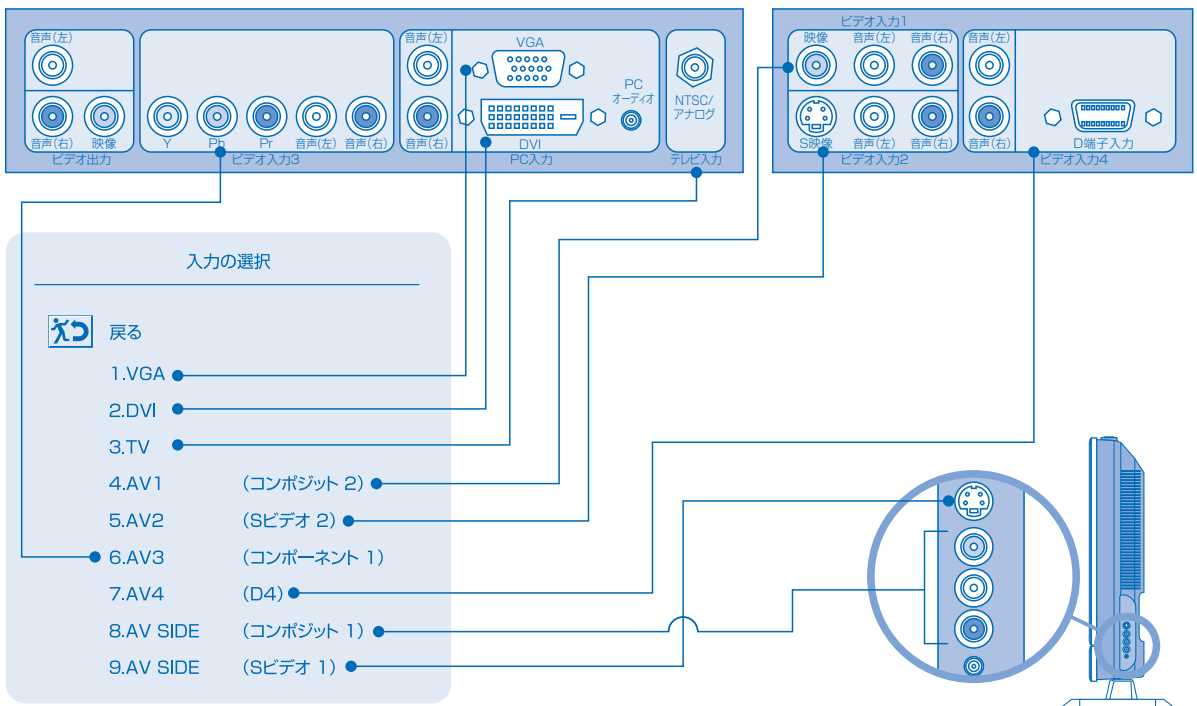
接続されていない入力を選択すると、以下のようなメッセージが表示されます。もう一度 を押して、接続されている入力を選択しなおしてください。

注意

AV4(D4)
ビデオ入力なし

手順 2 を押して入力を選択
 を押す

■ 各端子との対応



はじめに

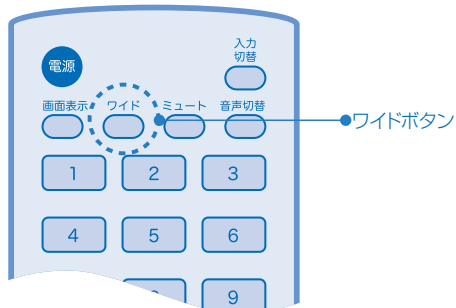
つなごうとしよう

テレビを見るために

各種設定

その他

1 映像に合わせて画像サイズを切り替える



手順 1 **ワイド** を押して画面サイズの種類を選択

→標準→拡大→4:3縦横比→ワイド→全画面→

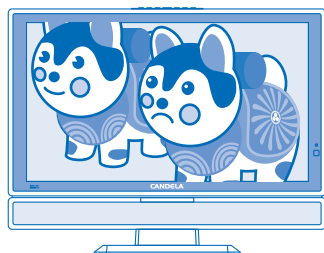
ワイド を押すたびに画面の種類が変わります。



4:3の映像の場合

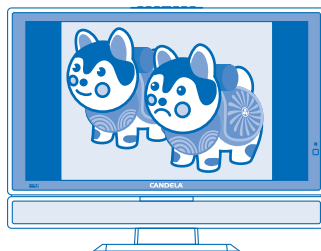
元の映像

4:3 映像



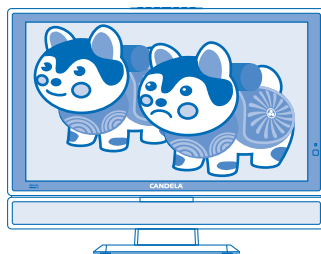
拡大

縦横比はそのままにして、画面いっぱいに表示します。上下が欠けてしまいます。



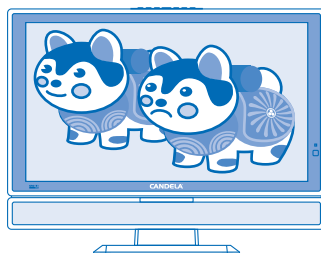
4:3縦横比

縦横比は正確ですが、横に黒い空間ができます。



ワイド

横幅いっぱいまで引き伸ばされて表示されます。少しだけ上下が欠けます。



全画面

画面全体に収まるように縦幅と横幅が拡大縮小されて表示されます。



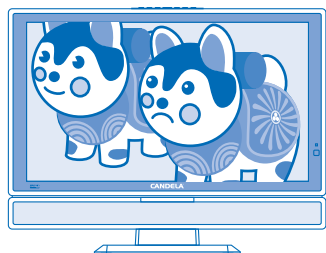
NOTE

ここで紹介しているのは、あくまでも例で、実際と異なる場合があります。お使いになる際には、元の映像信号に合わせて、ご自分で最適な画像サイズをお選びください。

横長の映像の場合

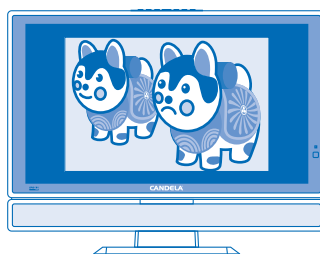
元の映像

横長の映像



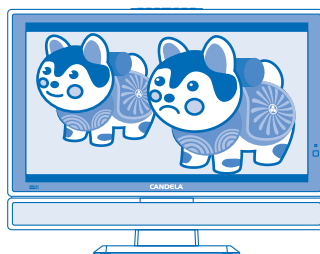
拡大

画面いっぱいに表示します。上下か左右のいずれかが欠けることがあります。



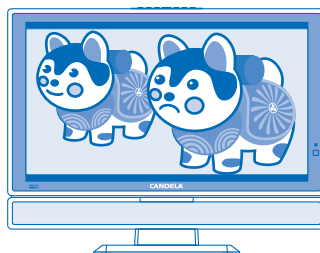
4:3縦横比

少し横に圧縮されて表示されます。周囲に黒い空間ができます。



ワイド

横幅いっぱいまで引き伸ばされて表示されます。



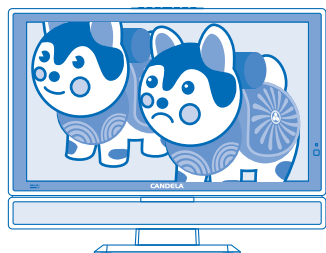
全画面

画面全体に収まるように縦幅と横幅が拡大縮小されて表示されます。

縦長の映像の場合

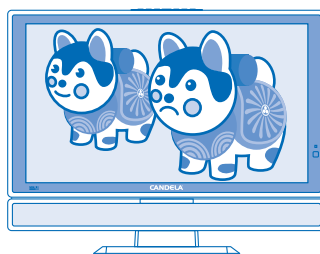
元の映像

縦長の映像



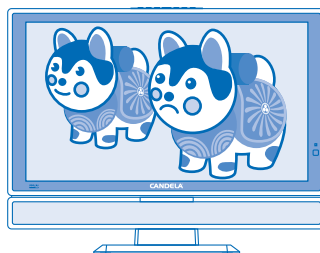
拡大

画面いっぱいに表示します。上下が欠けてしまいます。



ワイド

横幅いっぱいまで引き伸ばされて表示されます。



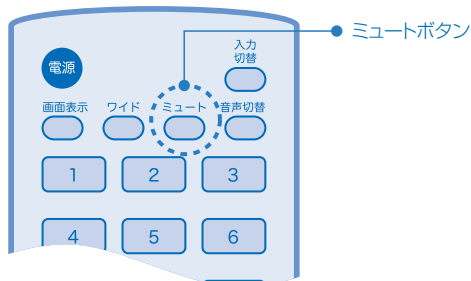
全画面

画面全体に収まるように縦幅と横幅が拡大縮小されて表示されます。

リモコンでできる音の操作

リモコンでは、音に関する操作がたくさんあります。

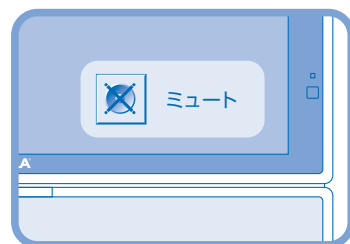
1 音を消す - ミュート



手順 1 ミュートを押して消音モードにする

ミュート ボタンを押すと、完全に音が消えます。

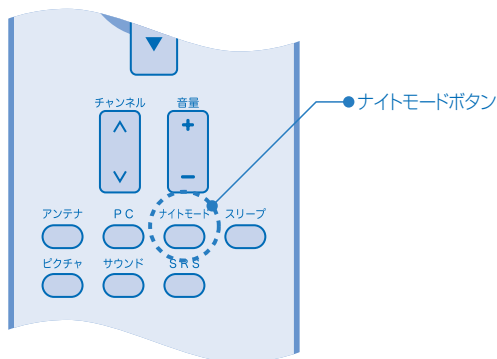
もう一度 ミュート ボタンを押すと、消音する前の音量に戻ります。



HINT .. 元の音量にすぐ戻せる ..

ミュート ボタンは、すぐに音を消したいときに便利です。音量ボタンで消音するのに比べて、素早く消音できます。また、もう一度 ミュート ボタンを押すことで、それまでの音量に戻すことができます。

2 深夜に最適な音量にする - ナイトモード



手順 1 ナイトモードを2回押して「深夜オン」を選択する

2回目以降は、ナイトモード ボタンを押すたびにナイトモードのオン・オフが切り替わります。

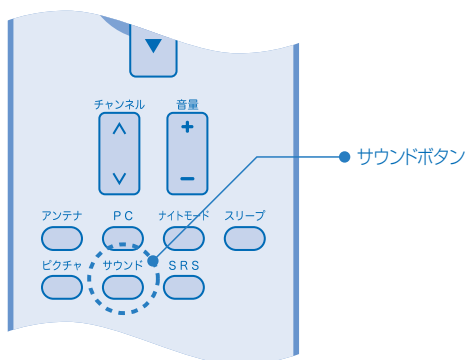


HINT .. 小さい音でもくっきり ..

ナイトモード ボタンを押して「深夜オン」に設定すると、現在設定されている音量が半分程度に下がります。その際、レベルの高い音は弱くし、レベルの低い音をはっきりとさせるので、深夜でも周囲に迷惑をかけることなく、クリアな音が楽しめます。

リモコンでは、音に関する操作がたくさんあります。

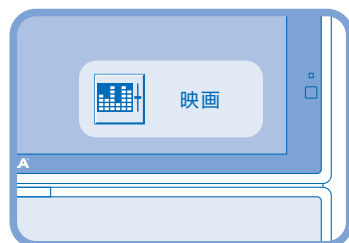
3 映像に合わせた臨場感のある音で聴く - サウンド



手順 1 サウンド を押して適したサウンドモードを選ぶ

→ パーソナル → 音声 → ミュージック → 映画

サウンド ボタンを押していくと、あらかじめ設定された、映像に最適なサウンド設定が選べます。

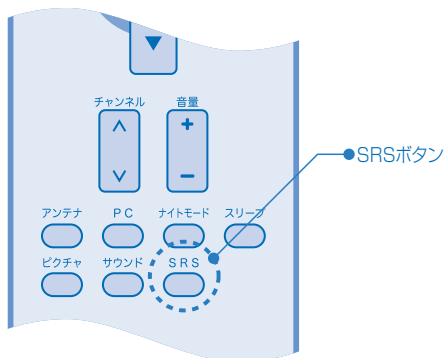


HINT 映像に合わせて選ぶ

「音声」は、ニュースや対談番組など、音声が主体の映像に、「ミュージック」は音楽番組、「映画」は映画番組に適したサウンド設定がされています。「パーソナル」は、利用者が自分で設定したサウンド設定が使われます。「パーソナル」のサウンド設定は、OSDメニューで行ないます。

P.38~P.39

4 広がりのあるリアルな音で聴く - SRS



手順 1 SRS を押して「SRSオン」にする

SRS ボタンを押して「SRSオン」を表示します。もう一度押すと「SRSオフ」になります。



HINT 人の耳に自然なサラウンド

SRS TruSurround XT®とは、一般的な2chのステレオスピーカーで、5.1ch(スピーカーを6本使う)の臨場感を再現する技術です。5.1chのスピーカーがなくても、サラウンド再生が楽しめます。SRS TruSurround XT®には、サラウンドの臨場感を損なわずに、人の声を聞き取り易くするSRS Dialog Clarity™と、低音を補うSRS TruBass®も含まれています。

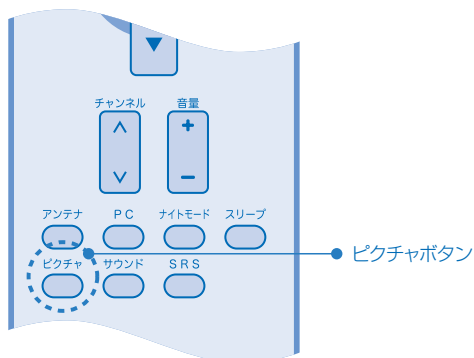


TruSurround XT はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

映像に適した色合いにする

映画などの映像を、もっと魅力的に観賞するために、ワンタッチで色合いを切り替えられる「ピクチャ」ボタンを使ってみましょう。

1 好みの色味に変更する - ピクチャ



手順 1  を押して色合いのモードを変える

パーソナル→映画→スポーツ→弱信号→マルチメディア

 ボタンを押すと、色合いを変更するモードになります。ボタンを押すたびに、色合いのモードが変更されます。



HINT 映像に合わせて選ぶ

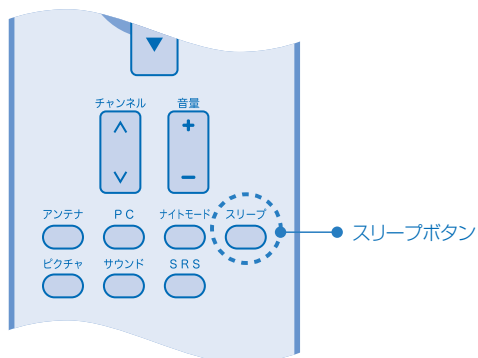
「映画」は、コントラストの落ち着いた色合いで、「スポーツ」は、コントラストと鮮明度、色調、色彩の高め、「弱信号」は、全体的にトーンを弱く、「マルチメディア」は、多少赤みの強い色合いで表示します。「パーソナル」は、利用者が自分で設定した色合いの設定が使われます。「パーソナル」の色合いの設定は、OSDメニューで行ないます。

P.36~P.37 >>>

自動的にテレビの電源を切る省エネ設定

本製品には、一定時間が経過すると、自動的に電源をオフにする、「スリープ」モードが用意されています。

1 一定時間経過で電源をオフする - スリープ

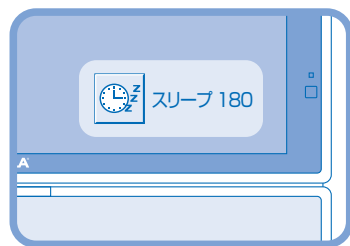


手順 1  を押してスリープの時間を変える

→ オフ → 10分 → 20分 → 30分 → 60分 → 120分 → 180分 →

 ボタンを押すと、電源をオフにするまでの時間を変更するモードになります。ボタンを押すたびに、時間が変化します。

スリープモードを解除するには、もう一度  ボタンを押します。



HINT 電源オフまでの時間を知るには

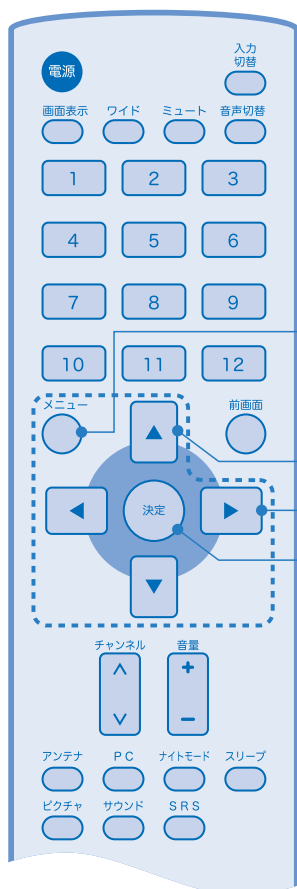
スリープを設定した状態で、しばらくしてから  ボタンを押すと、設定した時間から、経過した時間を引いた数字が表示されます。



テレビの細かな設定ができるOSDメニュー(TV)

本製品には、テレビの機能を細かく設定できる「OSDメニュー」が搭載されています。
ここでは、OSDメニューの基本的な操作方法について解説します。

1 テレビモードのOSDメニューの起動のしかた

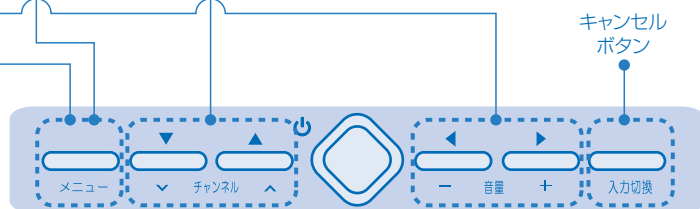


手順 1  を押してOSDメニューを表示させる



テレビモードのOSDメニューは、本製品がテレビのモードになっている状態で、 ボタンを押すと表示されます。

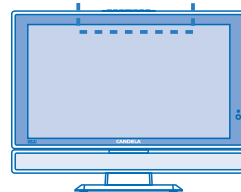
リモコンのボタンとコントロール部の関係



OSDメニューの操作に必要なボタン

-  OSDメニューの起動／終了
-   項目選択(左右の移動)／値の増減
-   項目選択(上下の移動)
-  選択項目の決定／実行

この手順では、点線の枠で囲まれているボタンのみを使います。



2 OSDメニューの終了のしかた



HINT OSDメニューはリモコンで操作

OSDメニューの操作は、リモコンとテレビ本体のコントロール部で行なえますが、リモコンの方が容易に操作できます。このマニュアルでは、リモコンでの操作を前提に説明していきます。

OSD タイムアウトの時間は、5 ～ 60 秒までの5秒単位で設定が可能です。

手順 1  を押してOSDメニューを終了させる

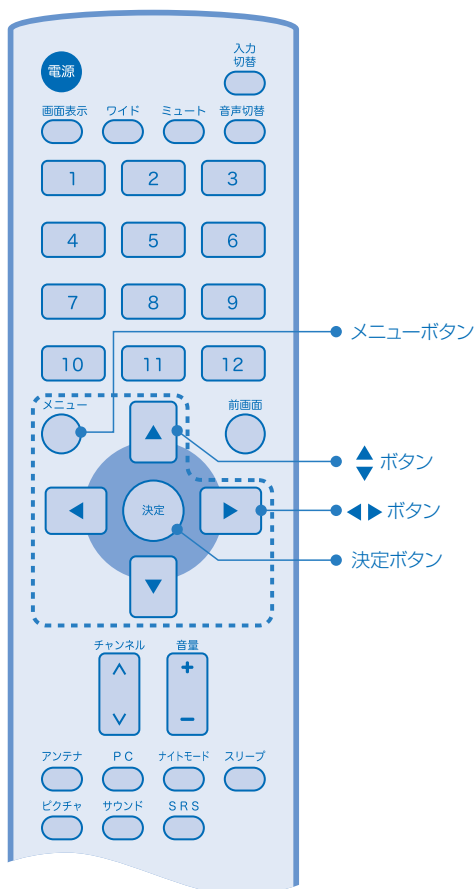


OSDメニューが表示されている状態で、再度  を押すか、 を選んで  ボタンを押すと、OSDメニューが終了します。または、しばらく放置すると、自動的に終了します。

OSDメニューの表示時間は **P.42** で調整できます。

本製品には、テレビの機能を細かく設定できる「OSDメニュー」が搭載されています。
ここでは、OSDメニューの基本的な操作方法について解説します。

3 OSDメニューの基本操作



この手順では、点線の枠で囲まれているボタンのみを使います。



HINT 設定項目によって動作が異なる

OSDメニューの設定項目には、別画面に移ってスライダで調整するタイプや、サブメニュー上で直接設定変更できるタイプなど、数タイプの設定項目があります。また、サブメニューから、さらに下の階層のサブメニューが表示されるものもあります。いずれも、設定項目を選択した後は、◀▶で設定値を変更して、決定で確定させます。(中には設定項目上で直接決定を押すと確定する項目もあります)

手順 1 を押してOSDメニューを表示させる



手順 2 ◀▶ を押して項目を選択
▲▼ を押してサブメニューの項目を選択
選択した項目を設定するには 決定 を押す



- OSDメニューの画面下部には、選択された項目に対応したサブメニューが表示されます。
- サブメニューの項目に移動するには、▲▼ を押します。
- 選択した項目を設定するには、決定 か、▶ を押します。

手順 3 ◀▶ を押して設定値を変更
変更した設定値を決定するには 決定 を押す



- OSDメニューの設定項目には、設定値を変更する際に、別の画面に切り替わるものがあります。
- 設定値を変更するには、◀▶ を押すと、スライダが増減して変更できます。
- 変更した設定値を確定するには 決定 を押します。
- 決定 を押すと、OSDメニュー画面に戻ります。



OSD メニューの操作方法に関しては、「テレビの細かな設定ができる OSD メニュー」を参照してください。 **P.32~33** >>>

各設定項目 - メインメニュー



終了

OSDメニューを終了する項目です。ここを選んで
決定 ボタンを押すと、OSDメニューを閉じます。

設定方法

使用ボタン



入力の選択

P.25 >>>

入力モードを変更することができます。本製品に接続されている外部AV機器やコンピュータに切り替えます。



映像の調整

テレビ画面の「輝度」、「コントラスト」、「鮮明度」、「色設定」、「色調」、「色彩」について設定できるメニューです。好みの色合いでテレビを観賞したいときに使います。

サブメニュー

P.36 >>>

映像の調整





音声の調整

音声に関する詳細な設定ができます。ここでの設定は、本製品のスピーカー出力はもちろん、外部の音声出力用AV機器への出力信号にも影響します。

サブメニュー

P.38 >>>

音声の調整

- 戻る
- SRS オン オフ
- 深夜 オン オフ
- イコライゼーション 映画
- 高音 0 +
- 低音 0 +
- TV出力音量 設定
- プログラム ステレオ
- ミュート オン オフ
- スピーカー出力 オン オフ



サイズ

映像信号に合わせて画面サイズを変更する項目です。「水平位置」以外は、リモコンの  ボタンで変更できます。

サブメニュー

P.40 >>>

サイズ

- 戻る
- 標準 ✓
- 拡大
- 4:3 縦横比
- ワイド
- 全画面
- 水平位置 50 +



セットアップ

本製品の映像や音声以外の設定をする項目です。OSDメニューの表示方法や、チャンネルセットアップなどが設定できます。

サブメニュー

P.41 >>>

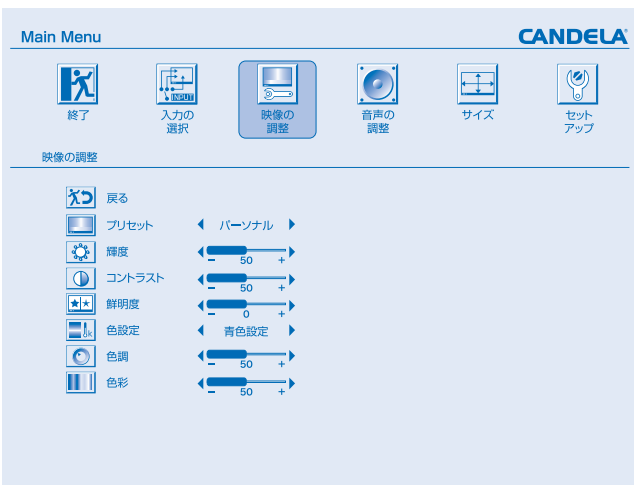
セットアップ

- 戻る
- TVメニュー設定
- チャンネルセットアップ
- 言語
- 出荷時設定にリセット
- スリープタイマー



映像の調整

テレビ画面の「輝度」、「コントラスト」、「鮮明度」、「色設定」、「色調」、「色彩」について設定できるメニューです。好みの色合いでテレビを観賞したいときに使います。



OSD メニューの操作方法に関しては、「テレビの細かな設定ができる OSD メニュー」を参照してください。 **P.32~33**

HINT 好みの絵作りがしたいときに...

あらかじめ設定されている画質の設定では満足できないとき、「映像の調整」を独自に設定することで、好みの画質が実現できます。設定した情報は「パーソナル」に記録されます。他に、あらかじめ登録されているプリセット情報に、「映画」、「スポーツ」、「弱信号」、「マルチメディア」があり、リモコンの で直接選択できます。

各設定項目 - 映像の調整



プリセット

「輝度」、「コントラスト」、「鮮明度」、「色設定」、「色調」、「色彩」の設定を、観賞する映像の種類に合わせて、あらかじめ登録してあるのが「プリセット」です。登録済みのプリセットは、「映画」、「スポーツ」、「弱信号」、「マルチメディア」があります。「パーソナル」のみ、ユーザーが自分で設定して登録しておけるプリセットです。

設定方法 対応リモコンボタン:

使用ボタン

初期設定は「パーソナル」。 ボタンで右の順番で切り替わる。

- パーソナル
- 映画
- スポーツ
- 弱信号
- マルチメディア



輝度

「輝度」は、画面の明るさを設定する項目です。数値が大きくなるほど「明るく」、数値を小さくするほど「暗く」なります。「輝度」は、本製品を使う場所の環境光の強さに合わせて調整してください。また、テレビに近づいて見るときは、やや暗めに設定して、目が疲れないようにしてください。

設定方法

使用ボタン

初期設定は「46」。
 ボタンで数値を増。
 ボタンで数値を減。



コントラスト

「コントラスト」は、画面のメリハリを設定する項目です。数値が大きくなるほど「明るくメリハリが強く」、数値を小さくするほど「暗くメリハリが弱く」なります。

設定方法

使用ボタン

初期設定は「45」。
 ボタンで数値を増。
 ボタンで数値を減。



鮮明度

「鮮明度」は、画像の鮮明さを設定する項目です。画像をよりシャープにしたいときは数値を大きく、よりソフトにしたいときは数値を小さく設定します。設定値は、0～24の25段階で調整します。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「9」。
 ▶ボタンで数値を増。
 ◀ボタンで数値を減。



色設定

「色設定」は、映像の色温度を設定する項目です。初期設定は、一般的に映像が綺麗に見える「青色設定」(9300k)になっています。

青色設定 …… 9300k
 赤色設定 …… 5700k
 標準色 …… 6500k

設定方法

使用ボタン



初期設定は「青色設定」。
 ▶ボタンで右の順番で切り替わる。



色調

「色調」は、映像全体の色味を設定する項目です。設定値の数値を大きくすると、映像全体が赤味がかかり、数値を小さくすると緑がかかります。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「50」。
 ▶ボタンで数値を増。
 ◀ボタンで数値を減。



色彩

「色彩」は、映像全体の彩度を設定する項目です。設定値の数値を大きくすると、映像全体が鮮やかになり、数値を小さくすると落ち着いた感じになります。「0」にするとモノクロになります。

設定方法

使用ボタン



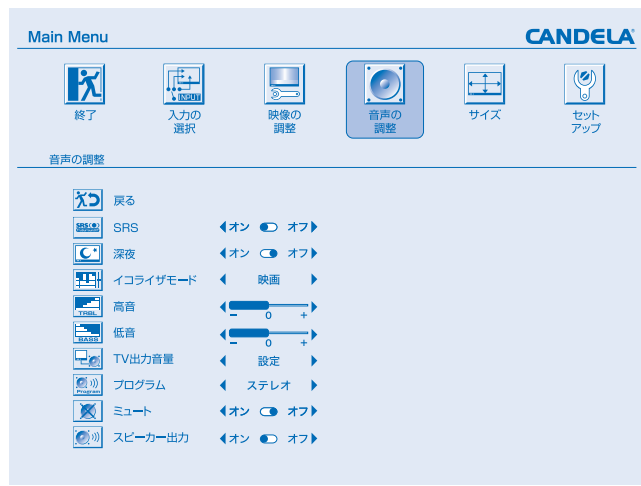
初期設定は「50」。
 ▶ボタンで数値を増。
 ◀ボタンで数値を減。





音声の調整

音声に関する詳細な設定ができます。ここでの設定は、本製品のスピーカー出力はもちろん、外部の音声出力用AV機器への出力信号にも影響します。



OSDメニューの操作方法に関しては、「テレビの細かな設定ができる OSD メニュー」を参照してください。 **P.32~33**



HINT 音にこだわりたいときに

あらかじめ設定されている音声の設定では満足できないとき、「音声の調整」を独自に設定することで、好みの音質が実現できます。設定した情報は「パーソナル」に記録されます。他に、あらかじめ登録されているプリセット情報に、「音声」、「ミュージック」、「映画」があり、リモコンの **サウンド** ボタンで直接選択できます。

各設定項目 - 音声の調整



SRS

本製品には、一般的な2chのステレオスピーカーで、5.1ch(スピーカーを6本使う)の臨場感を再現できるSRS TruSurround XT®が搭載されています。SRSのオン・オフを切り替えて、その違いを試してみてください。

設定方法

対応リモコンボタン: **SRS**

使用ボタン



初期設定は「オン」。
◀▶ ボタンでオン・オフを切り替える。

◀ **オン** **オフ** ▶



深夜

「深夜」をオンに設定すると、現在設定されている音量が半分程度に下がります。その際、レベルの高い音は弱くし、レベルの低い音をはっきりとさせるので、深夜でも周囲に迷惑をかけることなく、クリアな音が楽しめます。

設定方法

対応リモコンボタン: **ナイトモード**

使用ボタン



初期設定は「オフ」。
◀▶ ボタンでオン・オフを切り替える。

◀ **オン** **オフ** ▶



イコライザモード

以下で設定できる「高音」と「低音」の設定を、観賞する映像に合わせて、あらかじめ登録してあるのが「イコライザモード」です。登録済みのプリセットは、「音声」、「ミュージック」、「映画」です。ユーザーの設定は「パーソナル」に登録されます。

設定方法

対応リモコンボタン: **サウンド**

使用ボタン



初期設定は「パーソナル」。
▶ ボタンで右の順番で切り替わる。



高音

高い音を調整する項目です。設定値の数値を大きくするほど高音が強調され、小さくするほど高音が弱くなります。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「0」。

◀ ▶



TruSurround XT はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。



低音

低い音を調整する項目です。設定値の数値を大きくするほど低音が強調され、小さくするほど低音が弱くなります。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「0」。



TV出力音量

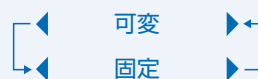
本製品に外部AV機器を接続している場合、外部機器への音声出力のレベルを、本製品で変更することができるようにするのが「可変」、本製品からの出力を一定にして、外部AV機器でレベル調整できるようにするのが「固定」です。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「可変」。
▶ ボタンで右の順番で切り替わる。



プログラム

二ヶ国語放送、副音声放送、また、ステレオ放送に対応した番組を視聴する際に、音声の出力方法を選択する項目です。「副」を選択すると「副音声」のみが、「主」を選択すると「主音声」のみが出力されます。

設定方法

対応リモコンボタン: 音声切替

使用ボタン



初期設定は「ステレオ」。
▶ ボタンで右の順番で切り替わる。



ミュート

ミュートは、音声出力を完全に消音する機能です。通常の利用はリモコンで行ないます。オンに戻すと、それまでの音量に戻すことができます。

設定方法

対応リモコンボタン: ミュート

使用ボタン



初期設定は「オフ」。
◀▶ ボタンでオン・オフを切り替える。



スピーカー出力

音声出力を、本製品に搭載されているスピーカーから出力するかどうかを設定する項目です。外部のスピーカーから音声を出力している場合、この設定を「オフ」にすると、外部スピーカーからのみ音声が出力されます。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「オン」。
◀▶ ボタンでオン・オフを切り替える。



OSDメニュー(TV) - サイズ

はじめに

つなぐとみましよう

テレビを見るために

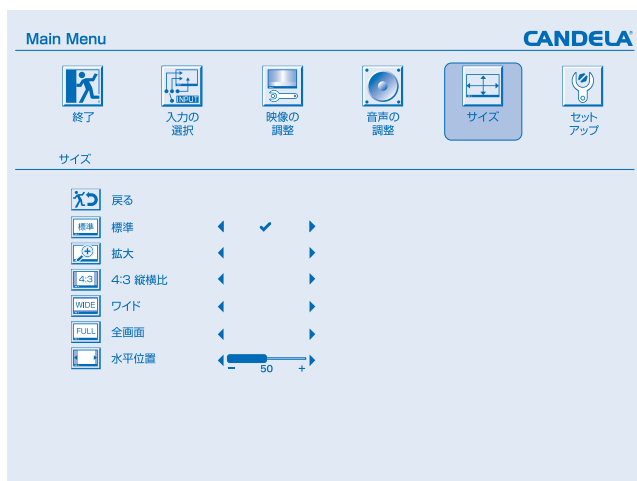
各種設定

その他



サイズ

映像信号に合わせて画面サイズを変更する項目です。
「水平位置」以外は、リモコンの **ワイド** ボタンで変更できます。



OSD メニューの操作方法に関しては、「テレビの細かな設定ができる OSD メニュー」を参照してください。 **P.32~33** >>>



HINT 画面の表示サイズを変えたいとき

映像信号によっては、画面の縦横比が異なるものがあります。ここでは、映像の種類に合わせて表示画面サイズを変更できます。「水平位置」以外はリモコンの **ワイド** ボタンで変更できます。

それぞれの画面サイズはどのように表示されるかは、**P.26~27** >>> を参照してください。

各設定項目 - サイズ



標準



拡大



4:3縦横比



ワイド



全画面



設定方法

対応リモコンボタン:



使用ボタン



初期設定は「標準」。
▲ ▼ ボタンで選んで
決定 ボタンで決定



水平位置

画面の位置を横方向にのみ移動できる設定項目です。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「50」。
▶ ボタンで数値を増。
◀ ボタンで数値を減。

OSDメニュー(TV) - セットアップ



セットアップ

本製品の映像や音声以外の設定をする項目です。OSDメニューの表示方法や、チャンネルセットアップなどが設定できます。



OSDメニューの操作方法に関しては、「テレビの細かい設定ができる OSD メニュー」を参照してください。 **P.32~33**



HINT テレビの基本的な設定

「セットアップ」には、本製品を使う上で基本となる設定項目が含まれています。「TVメニュー設定」では、ここで解説しているOSDメニューの表示方法が設定できます。また、各種設定をしている際に、本製品購入時の設定に戻したくなった場合に便利な、「出荷時設定にリセット」があります。「言語」では日本語と英語が選べます。

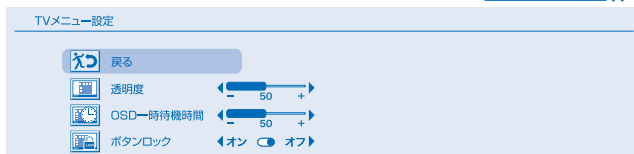
各設定項目 - セットアップ



TVメニュー設定

詳細は **P.42**

OSDメニュー(TV)の表示方法を設定する項目です。OSDメニューは操作をしない時間が一定時間過ぎると、自動的に非表示になります。OSDメニューの時間の調整はここです。



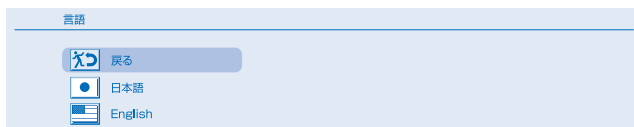
チャンネルセットアップ 詳細は **P.18~23**

テレビのチャンネルに関する様々な設定ができる項目です。



言語

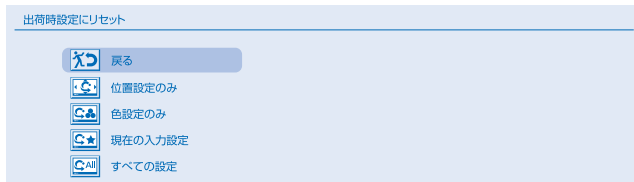
OSDメニュー(TV)の表示する言語を「日本語」と「英語」から選びます。



出荷時設定にリセット

詳細は **P.43**

OSDメニューで変更した設定を、元に戻すオプションです。状況に合わせて使いましょう。



スリープタイマー 詳細は **P.31**

一定時間経過後に、テレビの電源をオフする設定ができます。

はじめに

つなぐ楽しみよう

テレビを見るために

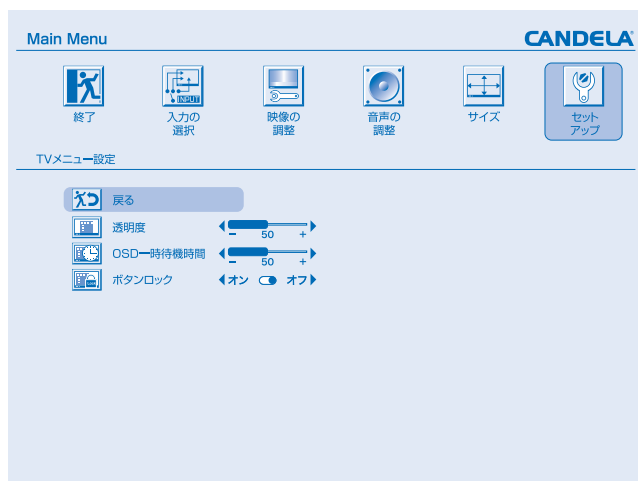
各種設定

その他

OSDメニュー(TV) - セットアップ - TVメニュー設定



セットアップ TVメニュー設定 OSDメニューの表示方法を設定します。



OSDメニューの操作方法に関しては、「テレビの細かな設定ができる OSD メニュー」を参照してください。 **P.32~33** >>>



HINT もっとゆっくり設定したいとき

OSDメニューは、無操作の時間が一定時間経過すると、自動的に非表示になります。この時間の初期設定は「15秒」。この時間が短く感じたら、「OSD一時待機時間」で、好みの時間に調節しましょう。また、「透明度」の設定をすれば、OSDメニューの背景の透明度が調整できます。

各設定項目 - セットアップ - TVメニュー設定



透明度

OSDメニューの背景の透明度を調整する項目です。初期設定では50%になっていて、OSDメニューの背後に表示されている映像が、半分透けて見えるようになっています。OSDメニューを見やすくしたり、背後の映像をもっとクリアに見たいときなどに、ここを調整します。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「50」。

▶ ボタンで数値を増。

◀ ボタンで数値を減。



OSD一時待機時間

OSDメニューは、無操作の状態が一定時間経過すると、自動的に閉じられてしまいます。初期設定では「15秒」に設定されていますので、もっと長くしたい(最大60秒)ときに、ここで設定します。最小値は「5秒」です。

設定方法

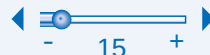
使用ボタン



初期設定は「15」。

▶ ボタンで数値を増。

◀ ボタンで数値を減。



ボタンロック

テレビ本体の上部にある「コントロール部」のボタン **P.9, P.32** >>> のうち、電源スイッチ以外のボタンを無効化する項目です。テレビの操作をリモコンのみで行なう場合など、この項目で設定してください。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「オフ」。

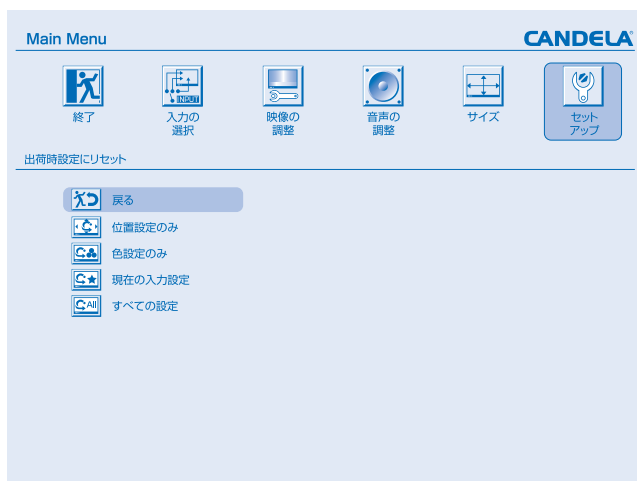
◀▶ ボタンでオン・オフを切り替える。



OSDメニュー(TV) - セットアップ - 出荷時設定にリセット



セットアップ 出荷時設定にリセット OSDメニューの設定を工場出荷時に戻します。



OSDメニューの操作方法に関しては、「テレビの細かい設定ができる OSD メニュー」を参照してください。 **P.32~33**



HINT 設定がわからなくなったとき

本製品のOSDメニューには、豊富な設定項目が用意されています。細かく設定しているときに、変更前の状態に戻したくなった場合は、この機能を使って、工場出荷状態に戻しましょう。リセット方法には、「すべての設定」を元に戻す以外に、「位置設定のみ」、「色設定のみ」、「現在の入力設定」だけをリセットする項目があります。

各設定項目 - セットアップ - 出荷時設定にリセット



位置設定のみ

OSDメニューの「サイズ」 **P.40** で設定した情報のみを、工場出荷状態に戻します。他の変更項目はリセットしません。

設定方法

使用ボタン



●ボタンでリセット。



色設定のみ

OSDメニューの「映像の調整」 **P.36~37** で設定した情報のみを、工場出荷状態に戻します。他の変更項目はリセットしません。

設定方法

使用ボタン



●ボタンでリセット。



現在の入力設定

テレビ、またはPCモードごとに、出荷時設定にリセットする項目です。テレビモードのセットアップで、この項目を実行すると、テレビモードの設定だけがリセットされ、PCモードのセットアップでは、PCモードの設定だけがリセットされます。

設定方法

使用ボタン



●ボタンでリセット。



すべての設定

OSDメニューで設定したすべての変更箇所を、工場出荷状態に戻します。

設定方法

使用ボタン



●ボタンでリセット。

はじめに

つなぐ楽しみよう

テレビを見るために

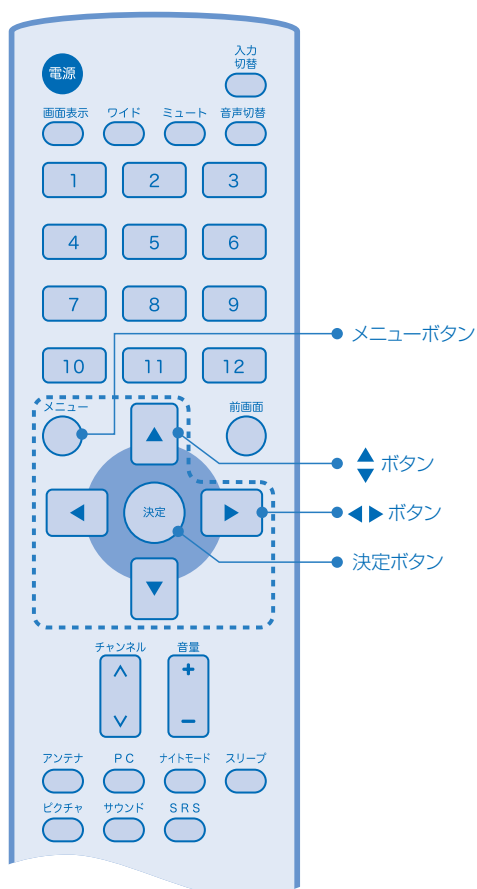
各種設定

その他

その他

本製品には、コンピュータのディスプレイとしての機能を細かく設定できる「OSDメニュー」が搭載されています。ここでは、OSDメニューの基本的な操作方法について解説します。

3 OSDメニューの基本操作



この手順では、点線の枠で囲まれているボタンのみを使います。



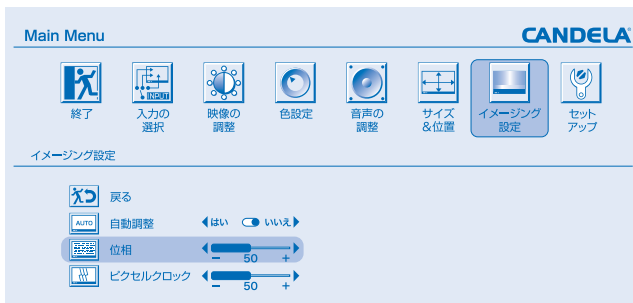
HINT 設定項目によって動作が異なる

OSDメニューの設定項目には、別画面に移ってスライダーで調整するタイプや、サブメニュー上で直接設定変更できるタイプなど、数タイプの設定項目があります。また、サブメニューから、さらに下の階層のサブメニューが表示されるものもあります。いずれも、設定項目を選択した後は、◀▶で設定値を変更して、決定で確定させます。(中には設定項目上で直接決定を押すと確定する項目もあります)

手順1 を押してOSDメニューを表示させる



手順2 ◀▶を押して項目を選択 ▲▼を押してサブメニューの項目を選択 選択した項目を設定するには 決定を押す



- OSDメニューの画面下部には、選択された項目に対応したサブメニューが表示されます。
- サブメニューの項目に移動するには、▲▼を押します。
- 選択した項目を設定するには、決定か、▶を押します。

手順3 ◀▶を押して設定値を変更 変更した設定値を決定するには 決定を押す



- OSDメニューの設定項目には、設定値を変更する際に、別の画面に切り替わるものがあります。
- 設定値を変更するには、◀▶を押すと、スライダーが増減して変更できます。
- 変更した設定値を確定するには 決定を押します。
- 決定を押すと、OSDメニュー画面に戻ります。



OSD メニューの操作方法に関しては、「PC ディスプレイとしての OSD メニュー」を参照してください。 **P.44~45** >>>

各設定項目 - メインメニュー



終了

OSDメニューを終了する項目です。ここを選んで
決定 ボタンを押すと、OSDメニューを閉じます。

設定方法

使用ボタン



入力の選択

P.25 >>>

入力モードを変更することができます。本製品に接続されているコンピュータ、その他の外部AV機器に切り替えます。コンピュータの画面を表示するには、「VGA」(アナログ)か「DVI」(デジタル)を選択します。



映像の調整

「輝度」と「コントラスト」を調整する項目です。

サブメニュー

P.48 >>>

映像の調整



色設定

ユーザーの好みや用途に合わせて色設定や色温度を変更することができます。

サブメニュー

P.49 >>>

色設定





音声の調整 P.38~39

各種音声モードの切替ができます。操作方法はテレビモードと同じです。



サイズ&位置

ディスプレイはパソコンからの信号を判別して自動で位置情報の設定を行ないますが、ユーザーが手動で調整することもできます。VGA(アナログ)入力を選択している際、水平や垂直位置を調整したり、縦横比の維持、全画面表示などの選択ができます。DVI(デジタル)モードのときは「サイズ」と表示され、画面サイズのみ変更できます。

サブメニュー

P.50

サイズ

- 戻る
- 水平位置 ← 50 +
- 垂直位置 ← 50 +
- 縦横比を維持 ← +
- 全画面 ← ✓ +
- 1:1 縦横比 ← +



イメージング設定

VGA(アナログ)入力を選択している際、ユーザが位相やピクセルクロックの設定を変更することができます。(通常は「自動設定」です) DVI(デジタル)のときは選択できません。

サブメニュー

P.51

イメージング設定

- 戻る
- 自動調整 ← はい ☐ いいえ ☐
- 位相 ← 50 +
- ピクセルクロック ← 50 +



セットアップ

メニューの言語や設定を出荷時の状態に戻したいときに選択します。操作方法はTVモードと同じです(「スリープタイマー」はありません)。また、DVIモードのときに限り「DVI設定」が可能です。

サブメニュー

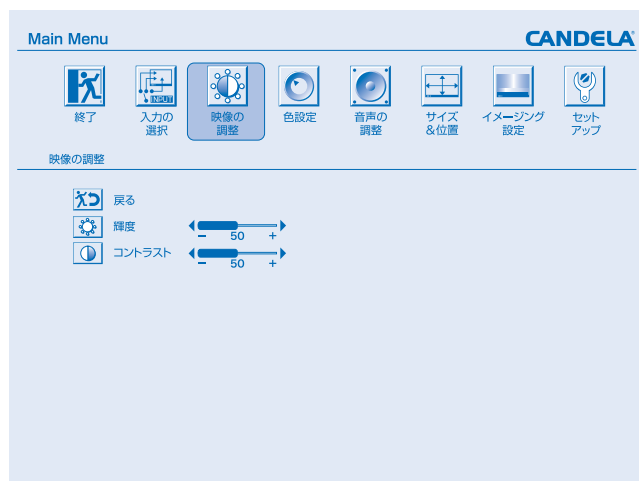
P.52

セットアップ

- 戻る
- TVメニュー設定
- 言語
- 出荷時設定にリセット
- DVI 設定



映像の調整 ディスプレイ画面の「輝度」と「コントラスト」を調整する項目です。



OSDメニューの操作方法に関しては、「PCディスプレイとしてのOSDメニュー」を参照してください。 **P.44~45**



HINT 好みの絵作りがしたいときに

あらかじめ設定されている画質の設定では満足できないとき、「映像の調整」で、「輝度」と「コントラスト」を調整できます。

各設定項目 - 映像の調整



輝度

「輝度」は、画面の明るさを設定する項目です。数値が大きくなるほど「明るく」、数値を小さくするほど「暗く」なります。「輝度」は、本製品を使う場所の環境光の強さに合わせて調整してください。また、テレビに近づいて見るときは、やや暗めに設定して、目が疲れないようにしてください。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「50」。
▶ ボタンで数値を増。
◀ ボタンで数値を減。



コントラスト

「コントラスト」は、画面のメリハリを設定する項目です。数値が大きくなるほど「明るくメリハリが強く」、数値を小さくするほど「暗くメリハリが弱く」なります。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「50」。
▶ ボタンで数値を増。
◀ ボタンで数値を減。

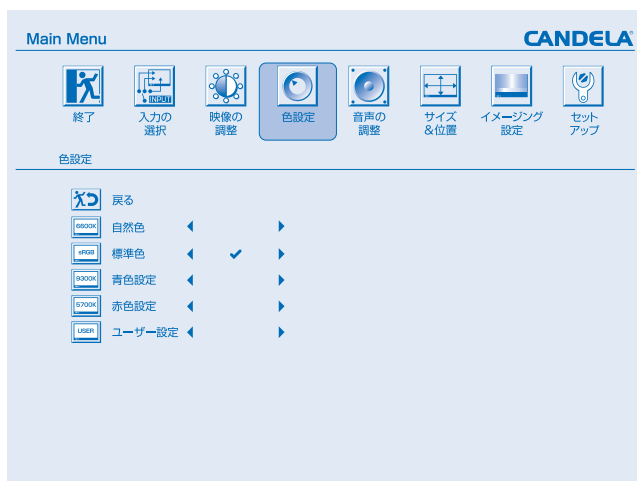


OSDメニュー(PC) - 色設定



色設定

コンピュータ画面の色設定を「自然色」「標準色」「青色設定」「赤色設定」から選択することができます。また、赤、緑、青の各色をユーザーが数値で設定できる「ユーザー設定」も可能です。



OSD メニューの操作方法に関しては、「PC ディスプレイとしての OSD メニュー」を参照してください。 **P.44~45**



HINT 作業に合わせて色味を変える

「色設定」では、コンピュータディスプレイとしての、色味を変えることができます。初期設定では「標準色(sRGB)」が選ばれています。通常の利用ではこの設定で構いませんが、グラフィックソフトやDTPソフトなどの、色味が重要になるソフトウェアを利用するときは、必要に応じて、適切な色設定を選んでください。

各設定項目 - 色設定



自然色



標準色



青色設定



赤色設定



ユーザー設定

色設定で「ユーザー設定」を選択した場合、赤/緑/青のそれぞれをユーザーが設定し、登録しておくことができます。決定 ボタンで右の画面が表示されます。

「赤色」、「緑色」、「青色」を個別に設定することで、好みの色味で表現できます。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「標準色」。
▲ ▼ ボタンで選んで
決定 ボタンで決定

設定方法



赤色



緑色



青色



使用ボタン



初期設定は「50」。
▶ ボタンで数値を増。
◀ ボタンで数値を減。



はじめに

つなぐ楽しみよう

テレビを見るために

各種設定

その他

OSDメニュー(PC) - サイズ&位置

はじめに

つなぐとみまっしやうに

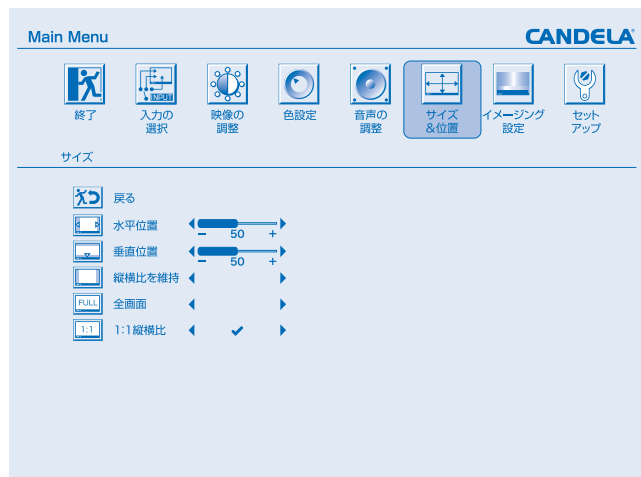
テレビを見るために

各種設定

その他



サイズ&位置 VGA(アナログ)の場合、水平や垂直位置を調整したり、縦横比の維持、全画面表示などの選択ができます。DVI(デジタル)の場合は「サイズ」と表示され、画面サイズのみ変更できます。



OSDメニューの操作方法に関しては、「PCディスプレイとしてのOSDメニュー」を参照してください。 **P.44~45**



HINT 文字が滲んでいるときは

「全画面」で表示すると、画面が横一杯に引き伸ばされるので、文字が滲んで見えることがあります。その場合は、「縦横比を維持」か、「1:1縦横比」を選んでください。

また、800x600や1024x768など4:3等の画面比率で「全画面」を選択した場合は、画面が横長で表示されます。

各設定項目 - サイズ&位置



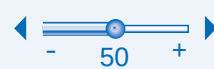
水平位置 (VGA入力のみ)

画面の水平位置を調整します(入力モードがVGAのとき)。数値は0~100の間で調整でき、数値が大きくと右に、小さいと左に画面が移動します。

設定方法

使用ボタン ◀ ▶

初期設定は「50」。
▶ボタンで数値を増。
◀ボタンで数値を減。



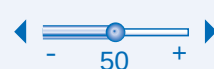
垂直位置 (VGA入力のみ)

画面の垂直位置を調整します(入力モードがVGAのとき)。数値は0~100の間で調整でき、数値が大きくと上に、小さいと下に画面が移動します。

設定方法

使用ボタン ◀ ▶

初期設定は「50」。
▶ボタンで数値を増。
◀ボタンで数値を減。



縦横比を維持 ◀ ▶



FULL 全画面 ◀ ▶



1:1 1:1縦横比 ◀ ✓ ▶

設定方法

使用ボタン



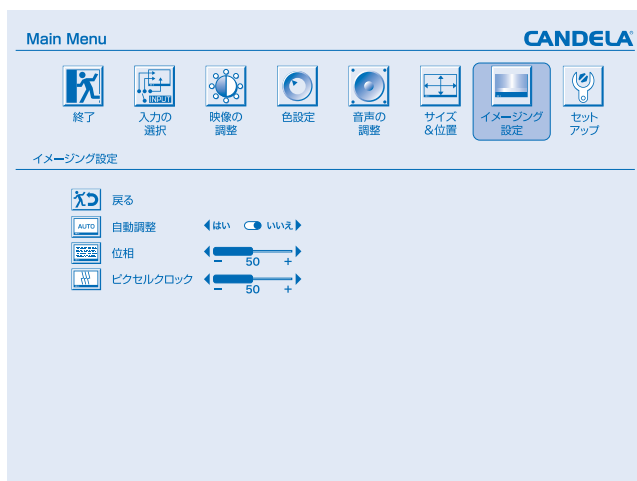
初期設定は「1:1縦横比」。
▲ ▼ ボタンで選んで
決定 ボタンで決定

「縦横比を維持」は、入力映像が持つ本来の縦横比を維持して表示します。「全画面」は、入力映像が持つ縦横比は無視して、ディスプレイ画面全体に表示されるように、自動的に拡縮して表示します。「1:1縦横比」は、1ドットの縦横比を1:1で表示するモードです。

OSDメニュー(PC) - イメージング設定(VGAのみ)



イメージング設定 VGA(アナログ)入力を選択している際、ユーザが位相やピクセルクロックの設定を変更することができます。(通常は「自動設定」です) DVI(デジタル)のときは選択できません。



OSD メニューの操作方法に関しては、「PC ディスプレイとしての OSD メニュー」を参照してください。 **P.44~45**



HINT 画質がおかしいときは

「自動調整」を行っても、画面の表示が正しくないと感じたときに、「位相」や「ピクセルクロック」の設定を変更することで、調整できることがあります。ただし、調整の内容によっては、画像が乱れたり、表示されなくなることがありますので、十分に注意して設定してください。

各設定項目 - イメージング設定



自動調整

コンピュータの映像信号を自動で判別して、位置情報などのイメージング設定ができます。自動調整は、WindowsなどのOSが起動した状態で行なってください。「自動調整」を「オン」にすると、すぐに自動調整が始まります。しばらく画面がちらつきますが故障ではありません。

設定方法

使用ボタン



初期設定は「オフ」。
◀▶ボタンでオン・オフを切り替える。

◀オン  オフ▶



位相



ピクセルクロック

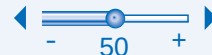
「位相」と「ピクセルクロック」を調整すると、画質を調整することができます。ただし、調整のしかたによっては、画像が乱れたり、正しく表示されなくなることがあるのでご注意ください。

設定方法

使用ボタン



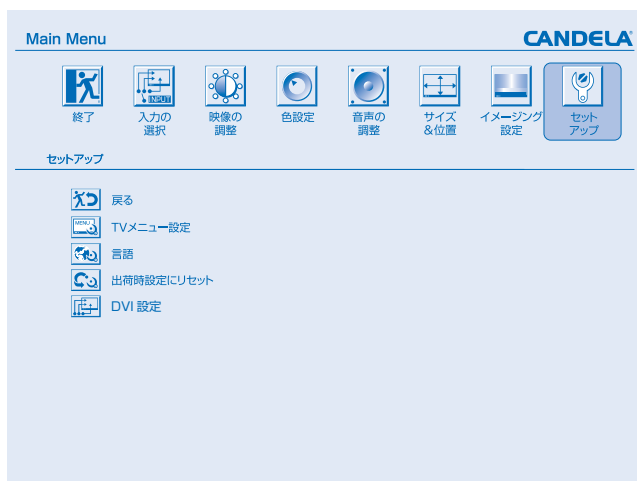
▶ボタンで数値を増。
◀ボタンで数値を減。



OSDメニュー(PC) - セットアップ



セットアップ 本製品の映像や音声以外の設定をする項目です。OSDメニューの表示方法や、



OSDメニューの操作方法に関しては、「PCディスプレイとしてのOSDメニュー」を参照してください。 **P.44~45** >>>



HINT ディスプレイの基本設定

「セットアップ」には、本製品を使う上で基本となる設定項目が含まれています。「TVメニュー設定」では、ここで解説しているOSDメニューの表示方法が設定できます。「DVI設定」は、コンピュータにDVI(デジタル)接続している場合のみ表示されます。

各設定項目 - セットアップ



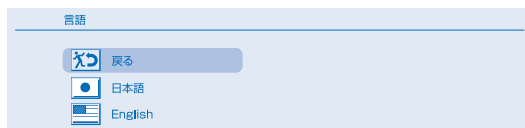
TVメニュー設定 詳細は **P.42** >>>

OSDメニュー(TV)の表示方法を設定する項目です。OSDメニューは操作をしない時間が一定時間過ぎると、自動的に非表示になります。OSDメニューの時間の調整はここです。



言語

OSDメニュー(TV)の表示する言語を「日本語」と「英語」から選びます。



出荷時設定にリセット 詳細は **P.43** >>>

OSDメニューで変更した設定を、元に戻すオプションです。状況に合わせて使いましょう。



DVI設定 (DVIのみ) 本製品のDVI(デジタル)端子は、HDCPに対応しており、PC入力とビデオ入力に対応しています。DVI接続している機器からの信号源を選択できる「信号源」と、入力信号の色情報の形式を「RGB」と「YUV」から選択することができます。

サブメニュー



設定方法

使用ボタン



初期設定は「オフ」。
◀▶ボタンでオン・オフを切り替える。

信号源

自動
ビデオ
PC

色

◀RGB YUV▶



はじめに

つなぐでみましよう

テレビを見るために

各種設定

その他

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン

- Q** リモコンを操作してもテレビがまったく反応しないのはなぜ？
- A**
- リモコンの乾電池が古くありませんか？ [P.5~P.6](#)》
 - リモコンの乾電池が正しくセットされていますか？ [P.5~P.6](#)》
 - リモコンとテレビの間に邪魔なものはありますか？
 - リモコンの発光部がテレビの受光部に正しく向いていますか？
 - テレビの受光部やリモコンの発光部が汚れていませんか？
 - テレビの受光部に強い光が当たっていませんか？
 - テレビの主電源がオフになっていませんか？ [P.11](#)》

電源

- Q** 電源がオンにならない
- A**
- 電源プラグが抜けていないか確かめてください。 [P.15~P.16](#)》
 - 本体背面の主電源がオフになっていないか確かめてください。 [P.11](#)》
 - テレビ本体上部の電源スイッチを押してみてください。 [P.9](#)》
 - リモコンで操作している場合は、上の質問を参照ください。
- Q** 急に電源オフになった
- A**
- スリープ機能が働いていませんか？ [P.31](#)》

映像・音声

- Q** 電源は入っているのに音も映像も出ない
- A**
- 入力切換ボタンを押して入力が合っているかを確かめてください。 [P.25](#)》
 - アンテナやAV機器などが正しく接続されていますか？ [P.12~P.14](#)》
- Q** スピーカーの片方から音が出ない
- A**
- AV機器の入力端子が片方外れていませんか？ [P.12~P.14](#)》
 - テレビ放送であれば他のチャンネルでも試してください。
- Q** ステレオ音声がモノラルになってしまう
- A**
- モノラルに設定されていませんか？ [P.24](#)》
 - AV機器と正しく接続されていますか？ [P.12~P.14](#)》
- Q** 映像が歪んでいる、または画面の上下に黒い帯がある
- A**
- 映像に合った正しい画面サイズが選択されていますか？ [P.26~P.27](#)》
 - 放送される映像によっては、黒い帯が出ることがあります。 [P.26~P.27](#)》
- Q** 画面がいつもより暗く感じる
- A**
- OSDメニュー機能を使って映像の調節をしてみてください。 [P.36~P.37](#)》
- Q** 画面上にいつも黒や白の点がある
- A**
- 液晶パネルの画素欠けが原因です。ある程度までの画素欠けは避けられませんので、あらかじめご了承ください。
- Q** 音が大きくならない
- A**
- ナイトモードがオンになっていませんか？ オフにしましょう。 [P.28](#)》
- Q** テレビの映りが悪い
- A**
- アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ [P.12~P.14](#)》
 - 屋外アンテナは正しく設置されていますか？ [P.12~P.14](#)》
 - アンテナケーブルが断線していませんか？ [P.12~P.14](#)》
 - 「チャンネル検索」を実行してみましょう。 [P.18~P.19](#)》
- Q** 映像に縞が出る
- A**
- アンテナケーブルにノイズが乗っています。アンテナケーブルの配線場所を変更してみてください。アンテナケーブルの近くに電源ケーブルやパソコンのケーブルなどがないかを確かめてください。
 - 正しいアンテナケーブルを使っていますか？ 付属のケーブル以外 [P.12~P.14](#)》をお使いの場合は、販売店に相談してみてください。

- Q** 映像が重なって見える **A** ● 地上波テレビ放送の電波は、ビルなどの高層建築物があると乱反射するために、映像がだぶる（ゴースト現象）ことがあります。販売店に相談して、アンテナの取り付け位置を変更してみてください。 **P.12~P.14** >>>
- Q** ノイズが聞こえる **A** ● テレビの近くで携帯電話を使っていますか？ テレビの近くで通話するとノイズが入ります。メールの受信でも同様です。
● テレビの近くにパソコンがあるとノイズが入ることがあります。
- Q** 音声だけが出ない **A** ● テレビが消音になっていませんか？ リモコンの消音ボタンを押してください。 **P.28** >>>
● 音量が小さくなっていませんか？ リモコンの音量ボタンを調節してみてください。
● テレビにヘッドホンが装着されていませんか？ **P.10** >>>
- Q** 映像だけが出ない **A** ● OSDメニューの「輝度」の設定が「0」になっていませんか？ **P.36** >>>
- Q** 映像の色が変だ **A** ● OSDメニューの「映像の調整」の各項目を使って、色を調整してください。 **P.36** >>>
● チャンネル検索をし直してください。 **P.18~P.19** >>>
● ケーブルが正しく接続されているを確認してください。 **P.12~P.14** >>>

■ コンピュータ

- Q** 「信号なし」が表示される **A** ● コンピュータと本製品が正しく接続されているかを確認してください。 **P.16~P.17** >>>
● コンピュータの電源がオフになっていないかを確認してください。 **P.11** >>>
● 入力選択が正しく行なわれているかを確認してください。 **P.25** >>>
- Q** 画面が明る過ぎ暗過ぎ **A** ● OSDメニューで「輝度」と「コントラスト」を調整してください。 **P.48** >>>
- Q** 画像が不鮮明、異常表示 **A** ● OSDメニューの「自動調整」を使って調整するか、VGA（アナログ）接続なら「イメージング設定」の「位相」と「ピクセルクロック」を調整してください。 **P.51** >>>
● コンピュータと本製品が正しく接続されているかを確認してください。 **P.16~P.17** >>>
- Q** 画像が歪む **A** ● OSDメニューの「出荷時設定にリセット」で、リセットするか、「自動調整」を実行してください。 **P.43** >>> **P.51** >>>
- Q** 画面の位置やサイズがおかしい **A** ● OSDメニューの「サイズ&位置」で「水平位置」と「垂直位置」の調整をしてください。 **P.50** >>>
● 「自動調整」を実行してください。 **P.51** >>>
- Q** 色にムラがある/暗すぎる/白が白くない **A** ● OSDメニューの「色設定」で色を調整してください。 **P.49** >>>
- Q** 1360×768の解像度で表示できない **A** ● お使いのビデオカード、またはビデオチップが、1360x768をサポートしているかをご確認ください。詳細は、お使いのビデオカードメーカーにお問い合わせください。



NOTE

修理やテクニカルセンターにお問合せいただく前に、本頁の情報をチェックして、ご自分で問題を解決できるかどうかを確認してください。
ここに掲載されている以外の不正な改造や修理は、保証の対象外となりますのでご注意ください。

はじめに

【保証書】

保証書には必ず「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめになり、販売店からお受け取りください。

【保証期間】

お買い上げの日から1年間です。

【修理に関するご相談】

お買い上げの販売店またはディーオンテクニカルセンターまでご相談ください。

ディーオンテクニカルセンター

電話:045-472-8181

ファクシミリ:045-473-6711

tech@candela.co.jp

つないでみましょう

お問合せいただく前に

お手数ですが、以下の内容をあらかじめご確認いただいてからお問合せください。

お名前(フリガナ)	
連絡先:郵便番号	
ご住所	
電話番号/FAX	
E-mail	
製品名(型番)	
シリアル番号(製品背面に記載)	
お買い上げ日	
接続されているAV機器	
具体的な問題:	

テレビを見るために

各種設定

その他



はじめに

つなぐでみましよう

テレビを見るために

各種設定

その他



はじめに

つないでみましょう

テレビを見るために

各種設定

その他

仕様

製品型番	CLV27WA1		CLV32WA1	
液晶パネル	27W型（可視領域27Wインチ）		32W型（可視領域32Wインチ）	
画素ピッチ	0.1455mm(H)×0.4365mm(V)		0.1730mm(H)×0.5190mm(V)	
アスペクト比	16:9			
最大表示解像度	1366ドット×768ライン（WXGA）			
PC表示解像度	1360×768＊、1280×768＊、1280×720＊、1024×768、800×600			
表示可能色数	1677万色（8Bit）			
輝度	550 cd／㎡			
コントラスト比	1000:1			
応答時間	8ms			
視野角度	水平176度、垂直176度			
画面表示サイズ	596.259(幅)×335.232(高さ)mm		708.954(幅)×398.592(高さ)mm	
入力端子(PC)	アナログD-Sub15ピン、デジタルDVI-D24ピン、オーディオ入力端子(3.5φ)			
入力端子	S-Video×2(内1系統はコンポジット入力端子とシェア)、CompositeRCA in×2、D4端子×1、コンポーネント端子×1			
出力端子	CompositeRCA out ×1、ヘッドフォン端子(3.5φ)			
TVチューナー	NTSC 113 Channel with Electronic PLL Tuner			
入力電源	100V AC±10%、60/50Hz±3Hz (power internal)			
消費電力	最大:160W	省電力モード時:3W未満	最大:180W	省電力モード時:3W未満
本体色	シルバー&ブラックのツートーンカラー			
スピーカー	7W + 7W (max)			
Wall Mount	VESA100×100mm		VESA200×200mm	
外形寸法	692.84(W)×537.95(H)×237(D)mm		810(W)×606(H)×237(D)mm	
本体重量	約13.5kg		約15.5kg	
電波輻射基準	VCCI ClassB, Smark		VCCI ClassB, Smark	
プラグアンドプレイ	VESA DDC1/2B			
付属品	電源ケーブル、アナログケーブル、デジタルケーブル、リモコン、電池(単4×2) オーディオケーブル、アンテナケーブル、コンポジットケーブル(赤・白・黄)、取扱説明書			

※ 1360×768、1280×768、1280×720のワイド解像度は、VGAカード、又はVGAチップのPC側のシステムが対応していないとサポートされません。

- 本製品は日本国内専用です。日本国外でのご使用は保証の対象外となります。また、アフターサービスもご利用いただけません。
This product is exclusively for Japan.
Use outside the Japan becomes the outside of the guarantee. Moreover, you can not use after-sale service.
- 本商品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。



本製品は、J-Moss(JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)に基づくグリーンマークを表示しております。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有についての情報公開をしております。
詳細は Web サイト、<http://www.candela.co.jp/> をご覧ください。

表示モード

	垂直同期(Hz)	水平同期(KHz)	同期化極性		Presence		Screen Mode	
			水平	垂直	水平	垂直	4:3	16:9
640×350	70.1	31.5	NEG	NEG	○	○	○	○
640×400	70.1	31.5	NEG	NEG	○	○	○	○
640×480	59.9	31.5	NEG	NEG	○	○	○	○
	75.0	37.5	NEG	NEG	○	○	○	○
720×400	70.1	31.5	NEG	POS	○	○	○	70.1
800×600	60.3	37.9	POS	POS	○	○	○	○
	75.0	46.9	POS	POS	○	○	○	○
1024×769	60.0	48.4	NEG	NEG	○	○	○	○
	70.1	56.5	NEG	NEG	○	○	○	○
	75.0	60.0	POS	POS	○	○	○	○
1280×768	60.0	47.7	POS	POS	○	○	○	○
1280×768	60.0	47.7	POS	NEG	○	○	○	○
1280×1024	60.0	63.9	POS	POS	○	○	○	○
1360×768	60.0	47.72	POS	POS	○	○	○	○

はじめてに

つなぐ楽しみよう

テレビを見るために

各種設定

その他



株式会社 ディーオン

〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-24-5

新横浜ユニオンビルANNEX 3F

Phone 045-472-8181

Facsimile 045-473-6711

mail info@candela.co.jp

サポート・修理窓口

ディーオン テクニカルセンター(SeS内)

〒236-0004 横浜市金沢区福浦2-6-17

Phone 045-472-8181

Facsimile 045-473-6711

mail tech@candela.co.jp

- 本製品には、保証書がついています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入無きものは、無効となりますので必ずご確認ください。
- 本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。
- 本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。
- 本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
- 乱丁本・落丁本の場合はお取替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。